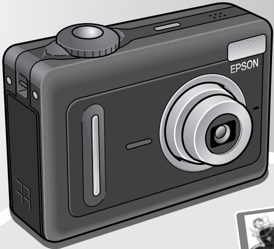
EPSON

L-500V
ユーザーズガイド







本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
メモ	知っておくと便利なことを記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。
(表記名)	ボタン類を示しています。

商標等の表記

- 商標DPOFは、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フイルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書Version1.00に対する著作権を保有しています。
- DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の規格略称です。
- 本製品は、PRINT Image Matching Ⅱに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。尚、PRINT Image Matching Ⅱ以前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。
- MultiMediaCardは、ドイツInfineon Technologies AG社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。
- Microsoft®Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft®Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® 2000operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000と表記しています。Microsoft®Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書中では、Windows XPと表記しています。また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XPを総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は、「Windows 98/ Me」のようにWindowsの表記を省略することがあります。
- 本製品が対応しているMac OSのバージョンは以下の通りです。
  Mac OS 9.1～9.2.x　/　Mac OS X v10.2、v10.3
- 本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記していることがあります。また、アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

安全にお使いいただくために

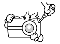
- 本製品を正しく安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。
- 本製品、同梱品、およびオプション品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および製品添付の取扱説明書をお読みください。
- 本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、いつでも見ることができる場所に、「保証書」とともに大切に保管してください。
- 本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	この記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		

■ 本体の取り扱いについて

⚠警告		
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。		
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。		
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障・感電・火災の原因となります。		
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。		
開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。		

⚠警告

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている通りの配線をしてください。
配線を誤ると、火災のおそれがあります。



布団などで覆った状態で使用しないでください。特に充電器の周辺を覆わないようご注意ください。
熱がこもってケースが変形したり、火災・感電のおそれがあります。



可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。（電源をオフにしてください。）
引火・爆発の原因となります。



歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。転倒・交通事故などの原因となります。



液晶モニタが破損した場合は、中の液晶に十分注意してください。万一次の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し石鹸でよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。



カメラを人の前に近づけて撮影しないでください。
目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。



連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電池を本体から抜いてください。

小さなお子さまの手の届くところには、設置、保管しないでください。
落ちたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。



■ 電池と充電器の取り扱いについて

⚠危険

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因になります。



電池は絶対に外部短絡させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
発熱・発煙・発火・破裂したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。



電池を火中または水中に投入しないでください。
発熱・発煙・破裂・発火・漏液の原因となります。

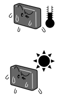


電池の端子にハンダ付けをしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となります。



⚠危険

電池を火のそば、ストーブのそばなど高温の場所（80 ℃以上）で使用したり、放置しないでください。また、電池を火のそばや炎天下などで充電しないでください。
高温になると充電できなくなったり、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。



電池を他の機器や他の用途に転用しないでください。
電池を損傷させたり、機器を損傷させたりすることがあります。



電池に釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強い衝撃を与えたりしないでください。発熱・発煙・破裂・発火・漏液の原因となります。



電池が漏液して液が目に入った時は、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因となります。



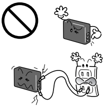
電池を使用中、充電中、または保管中に異臭が生じたり、発熱したり、変色、変形、漏液、その他今までと異なることに気がついた時は、機器から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、発煙・破裂・発火の原因となります。



⚠警告

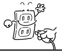
電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると感電・火災の原因となります。

- 指定されているリチウムイオン電池以外は使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届くところには、保管、放置しないでください。
- 電池を車の電源コンセントや車のシガレットコンセントに直接接続しないでください。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
- 電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。



本製品には必ず、専用充電器 A341H をお使いください。
同梱品以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なることがあり、発煙や発火など危険な状態になる可能性があります。

充電器を連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因になります。すぐに充電器から電源を抜いて、また電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。

付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



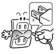
⚠警告

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。
- 電源コードを加工しない。
- 電源コードの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。



電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると火災などの原因となります。
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したままで差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む .



電源プラグのたこ足配線をしないでください。
発熱し火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。



開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。

正しくお使いいただくために

■ 本体の取り扱いについて

● 本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- 直射日光の当たる場所
- ほこりや塵の多い場所
- 湿度変化の激しい場所
- 温度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 振動のある場所

● 本製品は、以下の環境で使用してください。
- 温度 5℃～ 35℃（動作時）
- 湿度 30％～ 80％（動作時、非結露）

※特に炎天下など、製品が高温になる場所では使用しないでください。

● 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。動作不良や故障の原因となり、けがをするおそれがあります。

● 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）や、他の機器の振動が伝わる所など、振動しがちな場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

● 本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。特に小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。

● テレビ・ラジオに近い場所では使用しないでください。本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合していますが、微弱な電波を発信しておりますので、お近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。また雑音電波の影響を受けることがあります。

● フラッシュにゴミなどが付着しないようにしてください。発煙や発火の原因となります。

■「つゆつき」について

寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、本機の内部に水滴が生じる（結露する）ことがあります。内部に結露が生じた状態で使用すると故障することがあります。寒いところから暖かいところへ持ち込むときは、できるだけ本機を密閉ケースなどに入れたまましばらく放置してから取り出してください。

■ 液晶モニタについて

- 一部に常時点灯したり、または常時点灯しない画素が存在することがあります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。変形、変質、ひび割れなどのおそれがあります。

■ 本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によって撮影、記録、データ転送などが正常に行えなかった場合、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償致しかねます。

■ 動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、本製品やメモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責任も負いません。

■ パソコンおよび周辺機器について

パソコン、プリンタなど周辺機器の取り扱いは、各製品の取扱説明書をよくお読みになり、各メーカーが定める取り扱いに従ってください。

■ その他

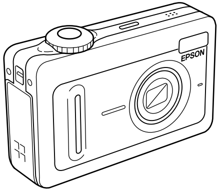
- 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプション、または消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。
- 本書の製品イラスト、アイコン、メニュー画面などは、実物と多少異なる場合があります。

目次

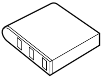
準備

同梱物の確認

次のものが同梱されていること、それぞれの部品に損傷がないことをお確かめください。万一不都合がございましたら、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。



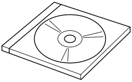
□本体



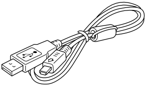
□電池（専用リチウムイオンバッテリパック） EU-94
（販売型番：EPALB2）



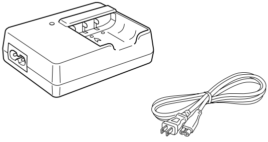
□ユーザーズガイド（本書）
□保証書



□ CD-ROM 1 枚



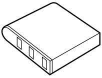
□接続ケーブル
※ パソコンや USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ（☞ P.33）と接続するときに使います。



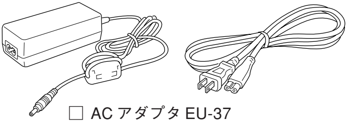
□ 充電器　A341H
□ 専用 AC ケーブル
※リチウムイオンバッテリパック EU-94 専用の充電器です。

※このほかにも各種ご案内などが同梱されている場合があります。

■ オプション品のご案内



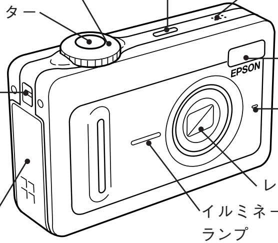
□電池（専用リチウムイオンバッテリパック）EU-94
（販売型番：EPALB2）



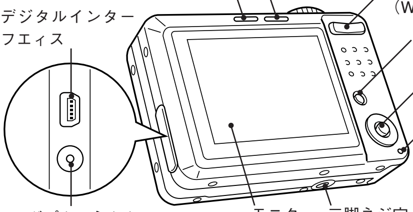
□ AC アダプタ EU-37
（販売型番：CPAD3B）

各部の名称

■ 前面



■ 背面

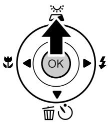


■ 選択レバーの操作のしかた

(選択レバー)は▲▼◀▶に**動かす**操作（選択）と上から**押す**操作（決定）があります。

●選択するとき（▲▼◀▶）

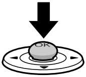
(選択レバー)を希望の方向に**動かし**ます。



（屋外モード/▲を選択する例）

●決定するとき（OK）

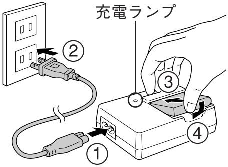
(選択レバー)を上から**押し**ます。

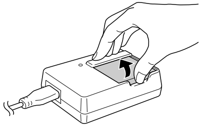


■ 電池の充電のしかた

電池のセット：充電器を組み立て（①）、コンセントに接続し（②）、電池のプラスマイナス端子面を充電ランプの位置に向け、丸い側面を外側にして電池をセットします。（③④）

電池の取り出し：指をかけて取り出します。





充電ランプが赤くなり充電が始まります。緑になったら充電完了です。

注 意

- 本機を使用していないときでも、電池は少しずつ放電しています。お使いいただくときは、直前（1日～2日前）に電池を充電することをお勧めします。
- 充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。
- 充電直後や使用直後は、電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、周囲の温度が5℃～35℃の場所で行ってください。低温で充電すると十分な充電ができません。また、高温で充電すると電池を劣化させるおそれがあります。
- 電池の特性上、十分に充電された状態でも寒冷地では使用時間が短くなります。電池をポケットに入れて暖めたり、予備の電池を用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロが電池に直接触れないよう、ご注意ください。
- この電池は、常温で使用した場合、約400～500回繰り返し充電することができます。（使用条件によって異なることがあります。）十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなった時は、電池の寿命と考えられます。このときは新しい電池をお求めください。

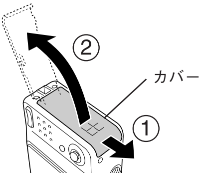
⚠警告

本機の専用充電器A341Hでは専用リチウムイオンバッテリパックEU-94（販売型番：EPALB2）以外は充電しないでください。

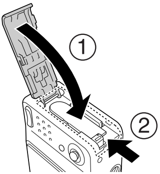
■ 電池 / メモリカードカバーの開閉のしかた

モニタ、ランプが全て消灯している（電源が入っていない）ことを必ず確認してください。電池 / メモリカードカバー（カバー）が開いたままでの使用はできません。

開け方：カバーを押さえながら、①の方向にスライドさせ②の方向にカバーを開けます。

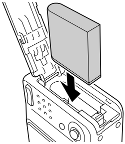


閉じ方：①の方向にカバーを倒し、押さえながら、②の方向にスライドさせて固定します。



■ 電池のセット

電池のプラスマイナス端子面をカメラ側に向け、丸い側面をシャッターボタン側にして、向きを間違えないようにセットしてください。

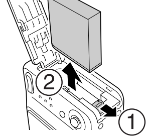


注 意

本機は専用のリチウムイオン電池（EU-94）以外使用できません。

■ 電池の取り出し

ツメを①の方向にスライドさせて②の方向に電池を取り出します。



メモ

Li-ion

使用済みの電池は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

■ メモリカード（別売）のセット

使用できるメモリカードは、容量 1GB 以下の次の 2 種類です。

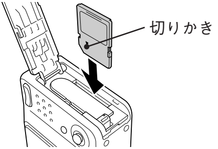
- SD メモリーカード
- **マルチメディアカード**（MMC）（日立製作所製または SanDisk 製で、MMC 規格 V2.1 以降のもの。）

メモ

購入後初めて使用するメモリカードは、正常に動作しない恐れがあるので必ず本機でフォーマットしてください。（☞P.61「設定の変更をする」、P.62「フォーマット（初期化）について」）

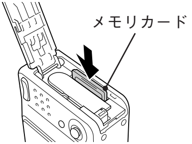
入れ方

方向に注意し、カチッと音がするまで静かに押し込みます。方向と表裏はメモリカードの切りかきで確認してください。



外し方

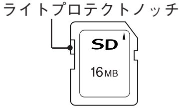
メモリカードを矢印の方向に押し込むと、ロックが解除され飛び出します。メモリカードをつまんで引き出してください。



メモ

SD メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止機能）について

SDメモリーカードの側面にあるノッチを「LOCK」方向にスライドさせると書き込み禁止となり、メモリカード内のデータを保護することができます。ただし、撮影やフォーマットができませんので、撮影時には書き込み禁止を解除してお使いください。



注意

メモリカードは精密な電子部品で作られています。次のように取り扱ってください。

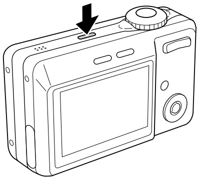
- 端子部に手や金属で触れないようにしてください。
- 取り扱う前に、接地されている金属に手を触れるなどして、必ず身体に帯電している静電気を放電してください。ご利用のメモリカードによっては、メモリカードを通して伝わる静電気により、本機が誤動作することがあります。
- 曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
- 熱・水分・直射日光を避けて使用・保管してください。
- 分解や改造はしないでください。

電源のオンとオフ

■ 電源の入れ方 / 切り方

入れ方：(POWER)（電源ボタン）を押します。
モードダイヤルをオート撮影モード、マニュアル撮影モード、連写モード、動画モードにセットしてあると、レンズバリアが開き、レンズが前へ出ます。

切り方：もう一度(POWER)を押します。
レンズが前へ出ている場合は、レンズが収納され、レンズバリアが閉じます。



メモ

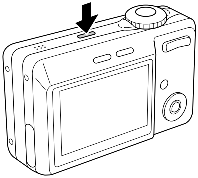
電源を入れてから、何も操作しない状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。
（☞ P.17「オート OFF について」、P.61「設定の変更をする」）

■ 初回設定（言語と日時の設定）

初めてお使いになるときは、「言語設定」「日時設定」の設定が必要です。次の手順にしたがって設定を行ってください。設定後に設定し直すこともできます。（☞ P.61「設定の変更をする」）

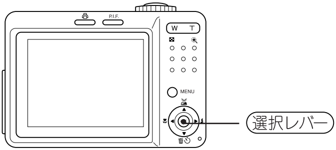
1 (POWER)を押します。

初めて電源を入れると、「言語選択」画面が表示されます。



2 (選択レバー)のOKを押します。

日本語以外の言語を選びたいときは、(選択レバー)を▲▼◀▶に動かして言語を選んでからOKを押します。

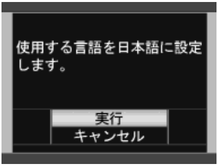




3 (選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選び、OKを押します。

日時設定に切り替わります。

★ 言語を選び直したいときは、「キャンセル」を選び、OKを押します。手順2の「言語選択」画面に戻ります。

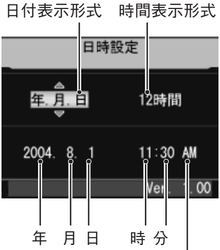


4 日時を入力し、表示形式を選んで、(選択レバー)のOKを押します。

(選択レバー)を▲▼に動かすと設定値（例: 20→21）が変わり、◀▶に動かすと設定項目（例: 日→時）が移動します。

「日付表示型式」は、日付表示を「年.月.日」、「月.日.年」、「日.月.年」から選びます。

「時間表示型式」は「12時間表示」または「24時間表示」から選びます。



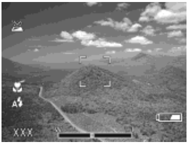
12 時間表示に設定すると、AM/PM が表示されます。

これで初回設定は完了です。

■ 電池残量

電池の残量は次のように表示されます。

	電池残量が十分残っています。（白色表示）
	電池残量が少なくなっています。（白色表示）
	電池がなくなりました。自動的に電源が切れます。充電または交換が必要です。（赤色表示）

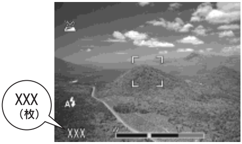


表示は約５秒後に消えますが、電池残量がないとき（赤色表示）は表示し続けます。

■ 撮影可能枚数表示

撮影可能枚数・録画時間秒数は、画面左下に表示されます。

静止画の場合は撮影可能枚数が５枚以下になったとき、動画の場合は録画時間が残り５秒以下になったとき、それぞれ赤色に変わり、メモリカードの空き容量が少なくなったことをお知らせします。



■ 撮影可能枚数

撮影可能枚数は、画像サイズ・圧縮率（P.45「画像の大きさを設定する ----- 画像サイズ」「画質を設定する ----- 圧縮率」）、メモリカードの空き容量などによって変わります。

撮影可能枚数の目安（128MB のメモリカードの場合）

圧縮率	画像サイズ（ピクセル）		
	★標準（640 × 480）	★★精細（1600 × 1200）	★★★高精細（2560 × 1920）
F ファイン	約 976 枚	約 194 枚	約 76 枚
N ノーマル	約 1563 枚	約 311 枚	約 127 枚
E エコノミー	約 1954 枚	約 459 枚	約 189 枚

オートモードでは画像サイズ：★★★高精細、圧縮率：N ノーマルの設定になります。
メモリカードに動画や P.I.F. フレームを記録している場合は、撮影可能枚数は上記よりも少なくなります。

基本的な使い方

手順早分かり

撮影から再生、印刷までの手順の流れは次の通りです。この流れに沿って、本章と次の章で基本的な使い方を説明していきます。実際にカメラを操作しながら、使い方をマスターしましょう。

撮影

① **電源を入れる（☞ P.17）**

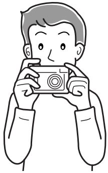
② **撮影モードを選ぶ（☞ P.18）**
→ 4 つの撮影モードがあります。
本章では、静止画の撮影を説明します。

③ **カメラを正しく構える（☞ P.20）**

④ **シャッターを切る（☞ P.21）**
→ ピントを合わせて、シャッターボタンを押します。
→ 必要に応じて、撮影前にズーム（☞ P.24）・マクロ（☞P.25）・フラッシュ（☞P.25）・セルフタイマ（☞ P.27）の設定をします。

⑤ **P.I.F. フレームを付けて撮影する（☞ P.28）**
→ P.I.F. フレーム付き画像の撮影のしかたを覚えましょう。

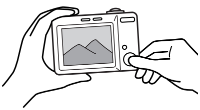




再生

① **再生モードにする（☞ P.30）**
→ どのように撮れたか、画像を確認します。

② **画像を 1 枚ずつ消去する（☞ P.32）**
→ 不要な画像を消去します。

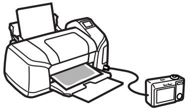


印刷

① **プリンタと接続する（☞ P.34）**

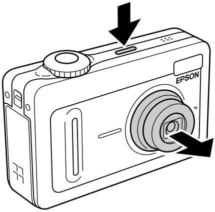
② **印刷方法を選ぶ（☞ P.36）**
→ 4 種類の印刷方法があります。

③ **印刷する（☞ P.42）**



電源を入れる

1 **(POWER)（電源ボタン）を押します。**
レンズバリアが開き、レンズが前へ出ます。
イルミネーションランプが青く点滅し、画面が表示されます。



メモ

- **モードダイヤルが再生モードまたはSETUPモードにセットされているときは、レンズは出ません。この場合、電源が入った状態で撮影モードに切り替えたときに、レンズが出ます。**
- **レンズは一旦前に出ると、電源が切れるまで収納されません。**

注意

- 電源を入れる際は、レンズの前に障害物がないことを確認してください。動いているレンズを無理に手で止めたり、異物をはさんだりしないでください。
- レンズが前に出た状態で持ち運ぶと、ぶつけたりして故障の原因となります。持ち運びの際は必ず電源を切ってください。

■ オート OFF について

電池使用時は、何も操作しない状態が一定時間続くと自動的に電源が切れ、電池の無駄な消費を防ぎます。

メモ

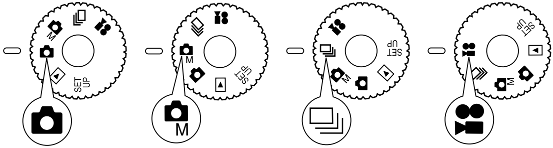
- **オート OFF になるまでの時間は、1 分、3 分、5 分、20 分から選択できます。**
  (P.61「設定の変更をする」)
- **次の場合は、オート OFF になりません。**
  ・スライドショー再生中　・連写中　・動画撮影中
  ・ダイレクトプリントの設定　・印刷中

撮影モードを選ぶ

1 **(モードダイヤル)を回します。**

左の⊂⊃マークに、撮影モードのマークを合わせます。

オートモード　マニュアルモード　連写モード　動画モード



メモ

- **(モードダイヤル)を回してモードを選んでから、電源を入れてもかまいません。**
- **モードの切り替えはいつでもできます。画像処理中もモードを切り替えることができますが、画像処理後に切り替わります。**

■ 撮影モードについて

本機には、4つの撮影モードがあります。

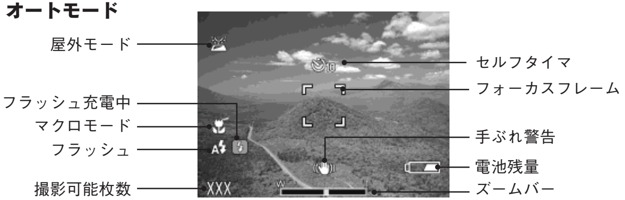
静止画	オートモード	撮影の設定項目が少なく、カメラの操作に慣れていない方でも簡単に撮影できます。初めてお使いになられる方や細かい設定をカメラに任せたい方は、このモードでの撮影をお勧めします。
静止画	マニュアルモード	撮影の際に役立ついくつかの機能があり、細かい設定ができ、撮影をより楽しむことができます。
静止画	連写モード	シャッターを押している間、連続的に撮影ができます。マニュアル撮影モードと同様に、撮影の細かい設定ができます。
動画	動画モード	音声付きの動画を撮影できます。（☞ P.48「動画を撮影する」）

オートモードは画質重視で撮影を楽しめる設定になっています。
多くの枚数を撮影したいときは、マニュアルモードで画像サイズと圧縮率を変更します。例えば、画像サイズを★標準（640×480）、圧縮率をE：エコノミーに設定すると、128MBのメモリカードで約1954枚の撮影ができます。

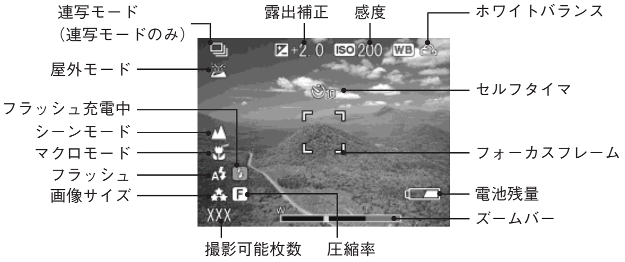
■ 画面表示

画面に表示されるアイコンで撮影設定を確認できます。アイコンの表示の仕方は撮影モードによって異なります。（以下は説明用の画面です。）

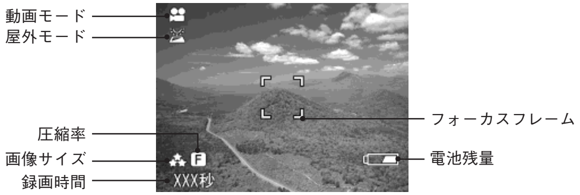
オートモード



マニュアルモード / 連写モード



動画モード



メモ

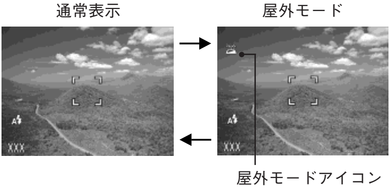
設定により、表示されるアイコンは異なります。

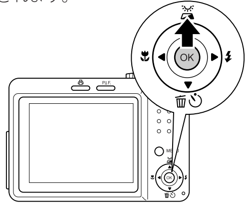
画面を見やすくする（屋外モード）

屋外など明るい場所で撮影するときに、画面を見やすくします。

1 **(選択レバー)を☀（▲）に動かします。**

画面の左上に☀（屋外モードアイコン）が表示されます。
動かすたびに、画面の表示が変わります。





カメラを正しく構える

ぶれないようにカメラを固定することが、きれいに写すポイントです。撮影するときは脇を軽く締めるとよいでしょう。壁やテーブルを利用してからだを支えるとブレの防止に効果があります。

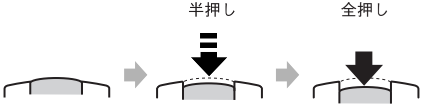


メモ

レンズやフラッシュやマイクを、指で隠さないように構えてください。

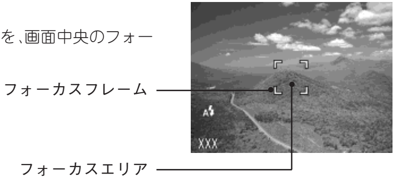
シャッターを切る（静止画）

構図が決まったら、シャッターを切ります。
(シャッターボタン)は、半押しと全押しの２段階で押します。半押しすると、ピントと露出を自動的に決定します。
そのまま全押しすると、決定したピントと露出で撮影されます。



1 構図を決めます。

ピントを合わせたい被写体を、画面中央のフォーカスエリアに合わせます。



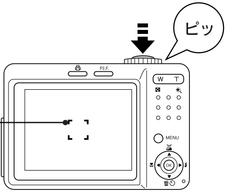
メモ

ピントを合わせたい被写体がフォーカスエリアにないときは、一旦その被写体をフォーカスエリアに入れ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせたまま（フォーカスロック）構図を調整します。被写体にピントが合った状態で自由な構図の撮影ができます。ただし、カメラを前後に動かしたり、被写体が前後に動くと、ピントが合わなくなります。

2 (シャッターボタン)を半押しします。

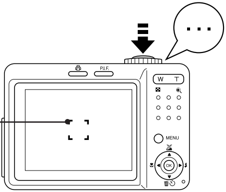
ピントが合ったかどうかは、フォーカスロック音とフォーカスフレームで確認できます。

ピントが合ったときは



緑色

ピントが合わなかったときは



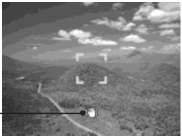
赤色

ピントが合わないときは、一旦指を離し、もう一度半押ししてください。

(シャッターボタン)の半押しで、次の情報がフォーカスフレームの下に表示されます。

オートモード

フラッシュ発光禁止時に、シャッター速度が遅くなると、手ぶれ警告アイコンが表示されます。手ぶれに注意してください。



手ぶれ警告アイコン

マニュアルモード / 連写モード

絞り値 / シャッター速度が表示されます。シャッター速度が遅くなると、赤色で表示されます。手ぶれに注意してください。



手ぶれ警告を赤色で表示

メモ

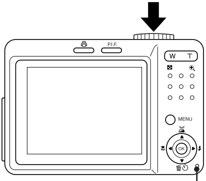
- 次のような条件では、ピントが合わないことがあります。
  - コントラストのない被写体
  - ブラインドのように縦線のない被写体
  - 極端に明るい部分がある被写体
- 遠いものと近いものが共存する被写体では、フォーカスフレームでピントが合ったことを示しても、実際にはピントが合っていない場合があります。
  このような場合は、被写体と同じ距離にある別のものにフォーカスロック（P.21）した後、構図を調整して撮影してください。
  縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、横位置に戻して撮影することもできます。
- フォーカスロックの音を変えることができます。（P.64「動作音を変更する」）

3 半押しの状態から、(シャッターボタン)を押し込みます。

シャッター音が鳴り、シャッターが切れます。

連写撮影のときは

シャッター音が鳴り、(シャッターボタン)を押している間、連続的にシャッターが切れます。撮影するたびに短時間、画像を表示します。(シャッターボタン)から指を離すと撮影は停止します。



メモリアクセスランプ

メモリアクセスランプが点灯し、画像がメモリカードに書き込まれます。

メモ

- シャッターボタンを半押しした状態でカメラを前後に動かすと、ピントが合わなくなります。一旦指を離し、再度半押しして、ピントを合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモードを使います。（☞ P.25「近くのものを撮影する（マクロモード）」）
- 連写モードでは一度のシャッター操作で、すべて同じピントと露出（最初の半押しで決定されたピントと露出）で撮影されます。また、一度のシャッター操作でメモリカードの容量いっぱいまで撮影できますが、最大枚数は撮影条件により変わります。（☞ P.15「撮影可能枚数」）
- クイックビューを設定すると、撮影の直後、最後に撮影された画像を約3秒間見ることができます。連写モードでは、クイックビューの設定に関わらず、撮影するたびに短時間画像が表示されます。（☞ P.47「クイックビュー / 音声メモ」）
- 音声メモを設定すると、撮影の直後、最長30秒の音声を録音し、画像に添付することができます。（☞ P.47「クイックビュー / 音声メモ」）
- シャッター音を変えることができます。（☞ P.64「動作音を変更する」）

拡大して撮影する

本機は、3倍の光学ズームレンズと4倍のデジタルズームを搭載していますので、最大12倍ズーム相当の撮影ができます。



1倍



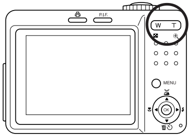
3倍



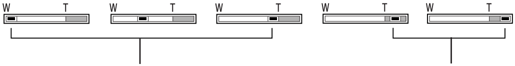
12倍

1 W T を押して、大きさを調整します。

ズームバーが表示されます。
T を押すと望遠（被写体を大きく撮影）、W を押すと広角（広い範囲を撮影）に変わります。



ズームバーの表示：



3倍光学ズーム　　4倍デジタルズーム

静止画の撮影では、光学ズームの望遠が最大になったあとにデジタルズームになります。
動画の撮影では、撮影を開始するとデジタルズームのみが使えます。

メモ

- **デジタルズームは、ご購入時は使用できないようOFFに設定されています。デジタルズームを使用する場合は、SETUPモードでデジタルズームをONに設定してください。（☞ P.61「設定の変更をする」）**
- **デジタルズームは、光学ズームで得られた画像の一部を電子的に拡大します。そのため、画像が粗くなります。**
- **画像サイズを★★★（高精細）、★★（精細）にして撮影したときは、デジタルズームは、光学ズーム使用時より撮影枚数が増えます。**
- **次の場合、ズームは解除されます。**
  - **モードダイヤルを操作したとき（デジタルズーム）**
  - **電源を切ったとき（光学/デジタルズーム）**
  - **オートOFFになったとき（光学/デジタルズーム）**

近くのものを撮影する（マクロモード）

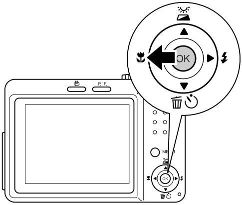
近くのものを撮影するときや被写体に近づいて撮影したいときは、マクロモードにします。

1 (選択レバー)を🌷（◀）に動かします。

画面に🌷（マクロアイコン）が表示されます。もう一度(選択レバー)を🌷（◀）に動かすか、電源を切るとマクロモードは解除されます。

マクロアイコン





フラッシュを使う

ご購入時は、オート発光に設定されています。この設定では、暗いところで撮影するときは、自動的にフラッシュが発光します。

■ フラッシュの届く範囲

感度の設定により、次のように変わります。（☞ P.46「感度を固定して撮影する－感度」）

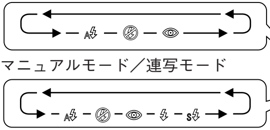
感度（ISO）	W（広角）側	T（望遠）側
ISO 100（標準感度）	0.7 ～ 2.6m	0.5 ～ 1.5m
ISO 200（中感度）	1.0 ～ 3.7m	0.6 ～ 2.1m
ISO 400（高感度）	1.4 ～ 5.2m	0.8 ～ 3.0m

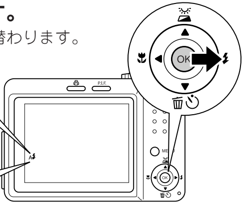
■ フラッシュの切り替え

1 **（選択レバー）を⚡（▶）に動かします。**

動かすたびに、次のように設定が切り替わります。

オートモード





表示	機能
A⚡ オート発光	暗いときに自動的に発光します。明るいところでは発光しません。通常の撮影全般で使います。
⊘ 発光禁止	常に発光しません。結婚式、ステージなど屋内の照明を生かした撮影や、美術館などフラッシュが使えないところでの撮影に使います。 発光禁止に設定すると、シャッター速度が最長 1/2 秒まで遅くなります。手ぶれに注意してください。
◎ 赤目軽減	発光の前に予備発光し、目が赤く写ることを和らげます。人物撮影に使います。
⚡ 強制発光	強制的に発光します。極端な逆光での撮影に使います。
S⚡ スローシンクロ	夜景の中での人物撮影など､暗いときに自動的に発光し､長時間露光(スローシャッター）中にフラッシュを同調（シンクロ）させる機能です。 フラッシュの届かない背景も明るく捉えて撮影します。 シャッタースピードが最長 1 秒まで遅くなり、手ぶれが起きやすくなるので三脚の使用をお勧めします。動く被写体はぶれて写ります。

メモ

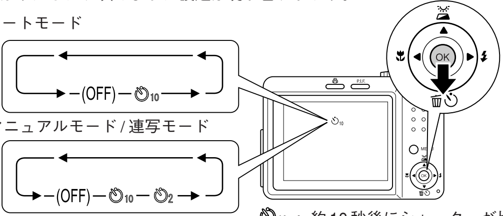
- **撮影モードを変えたあとでもフラッシュの切り替えができます。**
- **連写モードでフラッシュが発光する設定にすると、撮影のたびにフラッシュの充電が必要になるため、連写速度が遅くなります。**
- **フラッシュに手を触れないでください。汚れが付き、適正な発光量を得られなくなることがあります。**
- **動画モードではフラッシュは使えません。**

セルフタイマを使う

カメラは、三脚に固定するか、水平な台の上などにしっかりと固定してください。
(シャッターボタン)を押してから約2秒後または約10秒後に、シャッターが切れます。

1 (選択レバー)を◌̇(▼)に動かします。

動かすたびに、次のように設定が切り替わります。

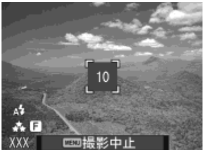


10：約10秒後にシャッターが切れます。
2：約2秒後にシャッターが切れます。

2 (シャッターボタン)を押して撮影します。(P.21「シャッターを切る(静止画)」)

(P.21「シャッターを切る(静止画)」)

イルミネーションランプが点滅し、画面の中央に、シャッターが切れるまでの秒数がカウントダウンしながら表示されます。



★ 撮影を中止する場合は、(MENU)を押します。(シャッターボタン)を押す前の状態に戻ります。

メモ

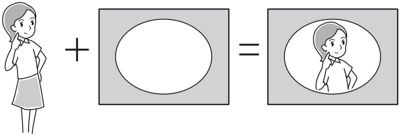
- **セルフタイマは1回撮影するごとに自動的に「OFF」に戻ります。**
- **連写モードの場合は、3枚(3コマ)の撮影となります。**

撮影する

P.I.F. フレームを付けて撮影する

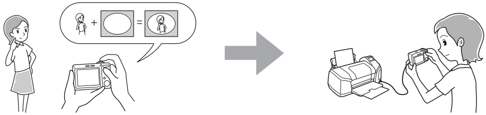
■ PRINT Image Framer について

PRINT Image Framer（プリントイメージフレーマー、以降 P.I.F.）は、撮影した画像と P.I.F. フレームを合成する機能です。



■ P.I.F. フレーム付き画像の印刷

合成された画像はカメラからプリンタへ直接印刷（ダイレクトプリント）ができます。詳しくは P.33「画像の印刷」を参照してください。



P.I.F. フレーム付きで撮影する（P.I.F. 撮影）

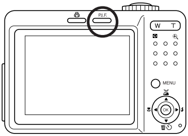
P.I.F.撮影では、撮影時にP.I.F.フレームを組み合わせられるので、被写体に合わせてP.I.F.フレームを選ぶことができます。

メモ

- **付属の CD-ROM には、P.I.F. フレームが収納されています。（Windows : [PIFFRAME]フォルダ、Macintosh : [P.I.F. フレーム集]フォルダ。）また、エプソンの PRINT Image Framer のホームページ「http://www.i-love-epson.co.jp/framer/」からも入手することができます。EPSON PRINT Image Framer Tool（付属の CD-ROM に収録）を使って、パソコンからカメラやメモリカードにコピーしてご利用ください。コピー方法は EPSON PRINT Image Framer Tool の電子マニュアルに記載されています。（☞P.59「P.I.F. フレームをコピー / 消去する」、☞P.75「電子マニュアルの起動方法」）**
- **P.I.F.フレームは、カメラ、メモリカードのどちらにも登録できます。登録数はP.I.F. フレームのデータ量やメモリカードの容量により異なります。**

1 **(P.I.F.)を押します。**

P.I.F. フレーム選択画面が表示されます。



2 (選択レバー)を◀▶に動かして、P.I.F. フレームが登録されている項目を選びます。

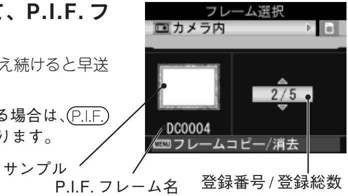
カメラ内またはメモリカード内を選びます。



3 (選択レバー)を▲▼に動かして、P.I.F. フレームを選びます。

(選択レバー)を動かした位置で押さえ続けると早送りできます。

★ P.I.Fフレームの選択を中止する場合は、(P.I.F.)を押します。撮影モードに戻ります。



4 (選択レバー)の OK を押して、P.I.F. フレームを決定します。

画面にP.I.F. フレームが表示されます。

5 表示されている P.I.F. フレームに合わせて撮影します。



6 撮影が終了したら、(P.I.F.)を押します。

P.I.F. 撮影モードが終了します。

メモ

撮影後にP.I.F. フレームを変更、消去、追加することができます。（☞P.31「P.I.F. フレームを付ける / なしにする」）

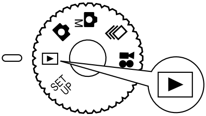
P・I・F・フレームを付けて撮影する

再生モードにする

再生モードでは、(選択レバー)と(W T)を使い、1枚ずつの再生や拡大表示、12枚ずつの一覧表示で画像を見ることができます。P.I.F.フレーム付きの画像はP.I.F.フレームが付いた状態で再生されます。

1 (モードダイヤル)で、再生モードにします。

直前に撮影した画像が、1コマ表示で再生されます。



2 (W T)を押して、表示のしかたを変えます。

12コマ表示



W ← / → T または OK

1コマ表示



T → / ← W または OK

拡大表示



表示位置

(選択レバー)を▲▼◀▶に動かして画像を選びます。動かした位置で止めていると、早送りします。

(選択レバー)を◀に動かすと1枚前の画像、▶に動かすと次の画像が表示されます。

(選択レバー)を▲▼◀▶に動かすと表示位置を変えられます。(T)を押すと、さらに拡大できます。(W)を押すと縮小します。

画像に表示されるアイコン

動画、音声メモ付き画像の場合は、画像の左上にアイコンが表示されます。再生のしかたはP.50「動画・音声メモを再生する」を参照してください。

：動画

：音声メモ付き画像





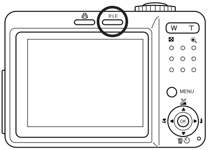
P.I.F. フレームを付ける / なしにする

再生モードで、P.I.F. フレームなしの画像にP.I.F. フレームを付けたり、P.I.F. フレーム付き画像のP.I.F. フレームを変更したり、P.I.F. フレームなしにすることができます。

■ P.I.F. フレームを付けるには

1 P.I.F. フレームを付けたい画像を表示し、(P.I.F.)を押します。

12コマ表示の場合は、P.I.F.フレームを付けたい画像にカーソルを合わせます。
P.I.F. フレーム選択画面が表示されます。



2 P.I.F. フレームを選びます。

P.29「P.I.F. フレーム付きで撮影する」の手順 2 から 4 と同様に操作します。

■ P.I.F. フレームなしにするには

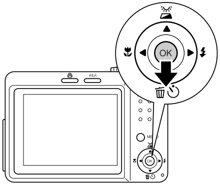
P.I.F. フレーム選択画面で、登録番号「ー」を選び、(選択レバー)の OK を押します。



画像（動画）を1枚ずつ消去する

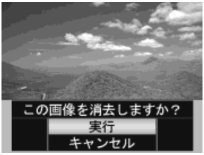
ここでは1つずつ消去する方法を説明します。何枚かまとめて消去することもできます。
（☞P.53「画像連続消去」、P.54「全画像消去」、「連写グループ消去」）

1 消去したい画像を1コマ表示で再生し、(選択レバー)を🗑（▼）に動かします。



2 (選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選びます。

消去を中止する場合は、「キャンセル」を選びます。



3 (選択レバー)のOKを押します。

画像が消去され、次の画像が表示されます。

注意

一度消去した画像は復元できません。

画像の印刷

ダイレクトプリント

本機は、パソコンを使わず直接プリンタに接続し、写真を印刷できます。
操作も簡単、①「プリンタと接続する」②「印刷設定をする」③「印刷する」の3段階できれいな写真が仕上がります。

■ いろいろな印刷ができます

- フチ・日付のあり/なしが選べます（☞ P.41「用紙や画質を設定する」）
- 6種類の割付印刷ができます（☞P.37、P.39「アルバム印刷」）

■ 対応プリンタ

エプソン製のUSB DIRECT-PRINT対応プリンタで、ダイレクトプリントを行うことができます。プリンタの機種は次の通りです。（2004年10月現在）

- PM-A900
- PM-A870
- PM-A700
- PM-D770
- E-100
- PM-D1000
- PM-A850
- PM-860PT
- PM-D750

ダイレクトプリントで使用できる用紙

ダイレクトプリント時に使用できる用紙の種類は、次の通りです。
詳しくは、各プリンタの取扱説明書をご覧ください。

	用紙名	特長	型番	備考
【A4判】【L判】	写真用紙 ＜光沢＞	長期間色あせしにくい高品質写真用紙。艶やかに仕上がり、まさに写真として楽しめます。	A4 ：KA420PSK KA450PSK KA4100PSK KA4250PSKN L判：KL20PSK KL50PSK KL100PSK	※1
	写真用紙 ＜絹目調＞	長期間色あせしにくく、光沢感をおさえた高品質の写真用紙です。	A4 ：KA420MSH L判：KLM20MSH KLM100MSH	※1
【ハガキ】	写真用紙 ＜絹目調＞ハガキ	長期間色あせしにくく、光沢感をおさえた高品質のハガキです。	KH20MSH	※2
	官製ハガキ （インクジェット紙）	インクジェットプリンタでの印刷に対応した官製ハガキです。	—	※3

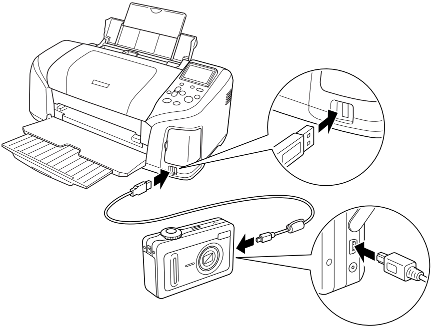
※1 本機での用紙種類設定では、A4：「A4/写真用紙」、L判：「L判/写真用紙」を指定してください。
※2 本機での用紙種類設定では、「ハガキ/写真用紙」を指定してください。
※3 本機での用紙種類設定では、「官製ハガキ/インクジェット紙」を指定してください。

プリンタと接続する

カメラとプリンタの電源が入っていないことを確認してから、接続してください。

1 付属の接続ケーブルで、カメラとプリンタを接続します。

奥までしっかり差し込んでください。



メモ

- 小さいコネクタがカメラ側です。また、コネクタには表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください。
- プリンタ側の接続方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 カメラとプリンタの電源を入れます。

メモ

- 多数の画像を印刷するときは、電池残量が十分あることを確認してください。電池残量が少ないと印刷途中で停止してしまうことがあります。別売のACアダプタEU-37（販売型番 :CPAD3B）を使用すると便利です。
- ダイレクトプリントの設定・印刷中は、オート OFF になりません。

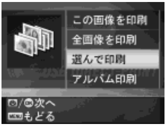
印刷設定をする

印刷する画像を選んだり、レイアウトや用紙の種類・大きさを指定するなど、印刷の設定をします。印刷設定は、再生モードで行います。

■ 印刷の流れ

印刷の流れは、次の通りです。印刷方法によって設定項目数が異なります。
操作方法は次ページ以降を参照してください。

①ダイレクトプリントモードにする(🖨を押す)



印刷方法を選びます。

この画像を印刷	全画像を印刷	選んで印刷	アルバム印刷
		画像を選ぶ	割付を選ぶ
印刷枚数を指定する※1	印刷枚数を指定する※1	印刷枚数を指定する	印刷枚数を指定する※1
用紙とサイズ / 画質を指定する※1	用紙とサイズ / 画質を指定する※1	用紙とサイズ / 画質を指定する※1	用紙とサイズ / 画質を指定する※1
フチ処理 / 日付を設定する※1	フチ処理 / 日付を設定する※1	フチ処理 / 日付を設定する※1	
印刷スタート	印刷スタート	印刷スタート	印刷スタート

②各設定を指定する



③印刷スタート



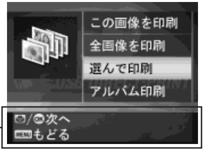
※1 指定をしなくても印刷できます。その場合、印刷枚数は1枚（全画像を印刷は各1枚）、印刷設定は初期設定値（☞P.41「用紙や画質を設定する」）または前回設定した設定値となります。

再生モードで表示している画像を1枚印刷する場合は、🖨を3回押すと印刷できます。

メモ

画面表示 / 操作ボタンについて

- **画面の下に、ボタンの操作説明が表示されます。**
- **画像選択、印刷枚数指定は、(選択レバー)で行います。このとき、(選択レバー)を動かした位置で止めていると、早送りをすることができます。**
- **操作の途中で設定を中止したいときは、(MENU)を押します。新しい設定はキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。**



印刷時にP.I.F. フレームを外すには

(MENU)を押して、一旦再生モード画面に戻ってからP.I.F. フレームを外します。
(☞P.31「P.I.F. フレームを付ける / なしにする 」)

プリンタと接続する・印刷設定をする

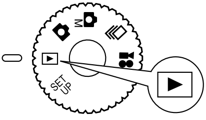
印刷方法を選ぶ

印刷予約（DPOF）の枚数設定を利用して「選んで印刷」、「アルバム印刷」を行う場合は、印刷予約（DPOF）を設定しておきます。（☞P.58）

1 (モードダイヤル)で、再生モードにします。

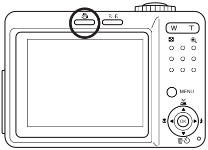
次の印刷を行う場合は、ここで印刷する画像を選び画面に表示しておきます。

- 「この画像を印刷」
- 印刷予約（DPOF）の枚数設定を利用しない「アルバム印刷」



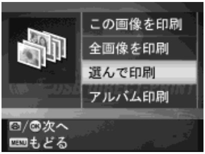
2 ⎙を押します。

ダイレクトプリントモードになり､印刷方法選択画面が表示されます。



3 (選択レバー)を▲▼に動かして印刷方法を選び､⎙または(選択レバー)のOKを押します。

「アルバム印刷」を選んだ場合は、この画面で割付を選びます。⎙または(選択レバー)のOKを押す前に、P.39「アルバム印刷」に進んでください。



次に、印刷枚数を設定します。操作は印刷の仕方によって異なります。次に示すページに進んでください。

「この画像を印刷 / 全画像を印刷」「選んで印刷」☞P.38

印刷方法は次の４種類があります。

この画像を印刷　：再生モードで表示していた画像を印刷します。

全画像を印刷　：すべての画像を指定した枚数ずつ印刷します。

選んで印刷　：印刷したい画像のみを、それぞれ指定した枚数ずつ印刷します。

アルバム印刷　：１枚の印刷用紙に指定した割付面分の画像を割り付けて、指定した枚数分印刷します。日付やP.I.F.フレームは、表示のない状態で印刷されます。

■ アルバム印刷について

アルバム印刷は再生モードで表示していた画像 から撮影順に1画像ずつ割り付けられます。

撮影順 →							
A	B	C	D	E	F	G	H

Cを再生モードで表示して、
3 面割付で 2 枚印刷と指定した場合、
右のように 2 枚印刷されます。

1 枚目	2 枚目
C D E	C D E

ダイレクトプリントモードに進む前に、印刷予約（DPOF）で画像に枚数を設定しておくと、印刷したい画像を指定した画像数分割り付けて印刷することができます。ただし、この場合は印刷枚数は指定できません。

次の印刷予約を設定して、3 面割付を指定した場合

撮影順 →								
	A	B	C	D	E	F	G	H
予約枚数	0	2	1	1	3	0	0	1

右のように印刷されます。

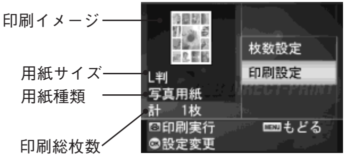
1 枚目	2 枚目	3 枚目
B B C	D E E	E H

- P.I.F. フレームは印刷されません。P.I.F. フレーム付き画像は P.I.F. フレームなしで印刷されます。
- 日付は印刷されません。
- メモリカードの空き容量が少ないと、アルバム印刷ができないことがあります。

印刷枚数や画像を設定する

■ 印刷確認画面の見方

それぞれの印刷の前に印刷確認画面が表示されます。見方は次のとおりです。



印刷枚数は、合計 999 枚まで設定可能です。

■ この画像を印刷 / 全画像を印刷

印刷方法を選ぶ（☞P.36）と、印刷確認画面が表示されます。「枚数設定」で印刷枚数を指定します。

1 （選択レバー）の OK を押します。

印刷方法選択画面から印刷確認画面に進んだときは、「枚数設定」が選ばれています。（選択レバー）の OK を押すと、枚数設定画面が表示されます。

2 （選択レバー）を▲▼に動かして枚数を入力します。

「この画像を印刷」の枚数設定画面



印刷枚数

「全画像を印刷」の枚数設定画面



印刷総枚数（全画像数×印刷枚数）

3 （選択レバー）の OK を押し、枚数を決定します。

印刷確認画面に戻ります。

次に、P.41「 用紙や画質を設定する」に進んでください。

■ 選んで印刷

印刷方法を選ぶ（☞P.36）と、画像選択画面が表示されます。ここで画像と印刷枚数を指定します。

1 （選択レバー）を◀▶に動かして画像を選び、▲▼に動かして枚数を入力します。

（W T）を押すと、1 コマ表示 / 12 コマ表示を切り替えることができます。

選んでいる画像の印刷枚数

この画像に指定した印刷枚数



印刷総枚数

T →

← W



印刷総枚数

2 （選択レバー）の OK または 印刷 を押し、枚数を決定します。

印刷確認画面が表示されます。

次に、P.41「用紙や画質を設定する」に進んでください。

メモ

画像に印刷予約（DPOF）（☞P.58）で枚数を設定している場合は、印刷方法選択画面で「選んで印刷」を選ぶと「印刷予約を反映しますか?」とメッセージが出ます。印刷予約での枚数設定を利用する場合は「はい」を選 びます。印刷確認画面が表示されます。
枚数を改めて設定する場合は「いいえ」を選びます。画像選択画面が表示されます。

■ アルバム印刷

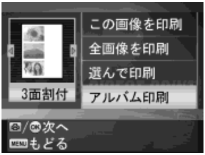
アルバム印刷の場合は、印刷方法選択画面（☞P.36 手順3）で割り付けの仕方を選んでから印刷確認画面に進み、印刷枚数を選びます。
メモリカードの空き容量が少ないとアルバム印刷ができないことがあります。

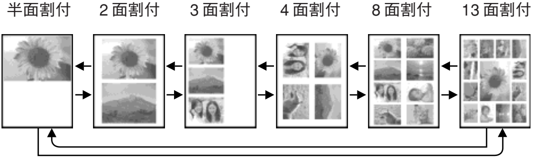
メモ

日付やP.I.F. フレームは印刷されません。P.I.F. フレーム付き画像はP.I.F. フレームなしで印刷されます。

1 （選択レバー）を◀▶に動かして割付を選びます。

◀▶に動かすたびに、割付サンプルが変わります。





印刷設定をする

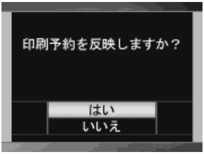
2 ⎙または(選択レバー)の OK を押します。

印刷予約を設定していない場合

印刷確認画面が表示されます。

印刷予約を設定している場合

右のメッセージ画面が表示されます。
印刷予約で設定した印刷枚数の反映をする、しないを選びます。(選択レバー)を▲▼に動かし、「はい」または「いいえ」を選んで、(選択レバー)の OK を押します。
印刷確認画面が表示されます。



3 (選択レバー)の OK を押します。

印刷確認画面に進んだときは、「枚数設定」が選ばれています。
(選択レバー)の OK を押すと、枚数設定画面が表示されます。
印刷予約の設定を反映させる場合、枚数設定は自動的に1（枚）になります。

4 (選択レバー)を▲▼に動かして枚数を入力します。



5 (選択レバー)の OK を押して枚数を決定します。

印刷確認画面に戻ります。

次に、P.41「用紙や画質を設定する」に進んでください。

用紙や画質を設定する

設定は4項目あります。**太字**はご購入時の設定値です。変更した設定は、次に設定を変更するまで現在の設定値が保持されます。

用紙種類	**L判/写真用紙**・ハガキ/写真用紙・官製ハガキ/インクジェット・A4/写真用紙
フチ	フチあり・**フチなし**
日付	**日付あり**・日付なし
画質	**はやい**・きれい

メモ

- P.I.F. フレーム付き画像は日付のない状態で印刷されます。
- A4を選んだ場合はP.I.F. フレーム付き画像でもP.I.F. フレームのない状態で印刷されます。

設定のしかたは、どの設定項目も同じです。ここでは「L判／写真用紙に設定する」を例にして説明します。

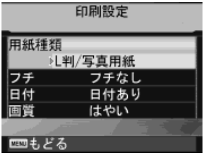
1 印刷確認画面を表示させて(選択レバー)を▲▼に動かし、「印刷設定」を選び、(選択レバー)のOKを押します。

「印刷設定」画面に進みます。



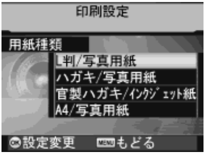
2 (選択レバー)を▲▼に動かし、変更したい項目（「用紙種類」）を選び、(選択レバー)のOKを押します。

設定値が表示されます。



3 (選択レバー)を▲▼に動かし、設定したい内容（「L判／写真用紙」）を選び、(選択レバー)のOKを押します。

印刷確認画面に戻ります。

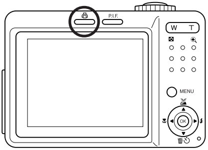


これで印刷の設定は完了です。

印刷する

印刷条件（どの画像を、どのように、どの用紙に、何枚印刷するか）をすべて設定できたら印刷します。設定した用紙をプリンタにセットしてください。

1 印刷確認画面で を押します。



注 意

印刷時はACアダプタ（別売）を使用することをおすすめします。
印刷中に電池／メモリカードカバーを開けないでください。メモリカードからの読み出しが停止します。

2 印刷準備を開始し、準備が終了すると印刷を開始します。

印刷準備中･印刷中は、一定時間を過ぎると（約5秒後）画面は消灯します。どれかボタンを押すと、復帰します。

★ インクや用紙がなくなった場合は、画面にエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対応してください。



印刷進行状況（何枚目を印刷中か）/印刷総枚数※

※ プリンタの液晶モニタには画像ごとの印刷枚数が表示されます。

3 印刷が終了すると、右の画面が表示されます。(選択レバー)のOKを押してください。

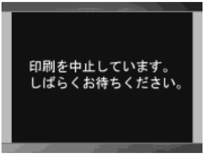
再生モード画面に戻ります。



これで印刷は完了です。

■ 印刷準備中・印刷中に中止をするには

画面が表示されている状態で、(MENU)を押します。
右の画面が表示されます。印刷中止処理後、印刷確認画面に戻ります。



使いこなす（その他の機能）

設定を変更して撮影する

マニュアルモード、連写モードは、“カメラにお任せ” から “ワンランク上” の撮影を楽しむための細かい設定ができます。

■撮影メニュー

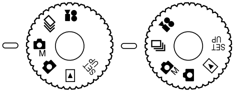
次の設定ができます。

- シーンモード（☞.P44）
- 画像サイズ（☞.P45）
- 圧縮率（☞.P45）
- 露出補正（☞.P45）
- 感度（☞.P46）
- ホワイトバランス（☞.P46）
- 情報表示（☞.P46）

撮影メニューの設定をする

撮影メニューの設定の仕方を説明します。どの設定項目も操作の仕方は同じです。ここでは「画像サイズを★640 × 480 にする」を例にして説明します。

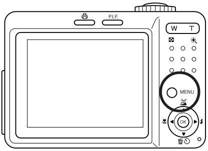
1 **(モードダイヤル)で、マニュアルモード、または連写モードにします。**



2 **(MENU)を押します。**

「撮影メニュー」画面が表示されます。

★ オートモードでは(MENU)を押してもメニューは表示されません。



3 **(選択レバー)を▲▼に動かして設定項目（画像サイズ）を選び、(選択レバー)のOKを押す、または▶に動かします。**

★(MENU)を押すと、撮影モード画面に戻ります。

4 選択レバーを▲▼に動かして設定値（「★640 × 480」）を選び、選択レバーのOKを押します。

「撮影メニュー」画面に戻ります。

★ MENUを押す、または 選択レバーを◀に動かすと、新しい設定を取り消して「撮影メニュー」画面に戻ります。

5 MENUを押します。

撮影モード画面に戻ります。

設定状態は、画面のアイコンで確認できます。（☞P.19「画面表示」）

被写体に合った撮影条件にする ----- シーンモード

撮影対象に合ったモードを選ぶだけで最適な画像になるように、撮影条件が設定されています。次の項目から選びます。
設定の仕方は、P.43「撮影メニューの設定をする」を参照してください。



ノーマル	一般撮影に適したモードです。カメラまかせで簡単に撮影できます。
風景	遠くの風景がはっきり写るよう設定されています。 フラッシュは発光禁止（⊘）になります。
ポートレート	人物撮影（ポートレート）に適したモードです。 フラッシュはオート発光（A⚡）になります。
夜景風景	夜景の撮影に適したモードです。 フラッシュは発光禁止（⊘）になります。
夜景 ポートレート	夜や暗い場所での人物撮影に適したモードです。 フラッシュはスローシンクロ（S⚡）になります。

メモ

- シーンモードを設定すると、フラッシュは各シーンモードの設定になりますが、選択レバーを⚡(▶）に動かして変更ができます。
- マクロモードにすると、シーンモードは解除されます。

画像の大きさを設定する ----- 画像サイズ

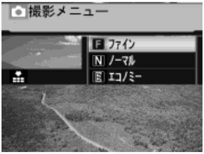
印刷したい大きさを目安に画像サイズを選びます。画像サイズが大きいほどファイルサイズが大きくなります。
設定の仕方は、P43「撮影メニューの設定をする」を参照してください。



画像サイズ（ピクセル）	ファイルサイズ
★★★ 高精細 ：（2560 × 1920）	大
★★ 精細 ：（1600 × 1200）	中
★ 標準 ：（640 × 480）	小

画質を設定する ----- 圧縮率

画質が高いほどきれいな写真に仕上がりますが、画像ファイルサイズが大きくなります。
設定の仕方は、P.43「撮影メニューの設定をする」を参照してください。



圧縮率	画質	ファイルサイズ
F ： ファイン	高	大
N ： ノーマル	中	中
E ： エコノミー	低	小

画像の明るさを補正する ----- 露出補正

+2.0～-2.0で設定します。撮影画像の明るさを補正したいときに使います。＋側に変更すると画像を明るく、－側に設定すると暗く撮影します。
設定の仕方は、P.43「撮影メニューの設定をする」を参照してください。

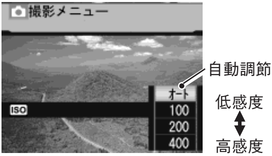


明るく
したいとき

暗く
したいとき

感度を固定して撮影する ----- 感度

感度を高くするほど、速いシャッタースピードで撮影ができます。また、より暗い場所での撮影が可能になります。ただし、画像のノイズが増えます。
感度は ISO 感度に相当します。
設定の仕方は、P.43「撮影メニューの設定をする」を参照してください。



色合いを調節する ----- ホワイトバランス

ホワイトバランスとは、光源が変わっても、白いものを白く写す機能です。光源に合わせて選びます。
設定の仕方は、P.43「撮影メニューの設定をする」を参照してください。



オート	撮影状況に合わせてホワイトバランスが自動設定されます。
デイライト	太陽光に合わせてあります。晴天の屋外で撮影するときに設定します。キャンドルや照明の雰囲気を出したいときや、夕日の赤さを強調したいときにも効果があります。
曇天	曇りのときに青みがかって写るのを防止します。
白熱灯	白熱灯下で、赤みがかって写るのを防止します。
蛍光灯	蛍光灯下で、緑がかって写るのを防止します。
水銀灯	水銀灯下で、緑がかって写るのを防止します。

撮影時の表示を切り替える ----- 情報表示

撮影時の画面表示を切り替えることができます。
設定の仕方は、P43「撮影メニューの設定をする」を参照してください。

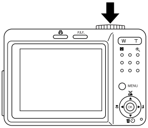


基本情報	アイコン表示されます
表示 OFF	情報表示されません

クイックビュー / 音声メモ

クイックビューとは、撮影直後に、画像を約3秒間画面に表示する機能です。どのように撮影されたか、すぐに確認できます。さらに音声メモ機能をプラスすると、最大30秒の音声を添付することができます。この場合、画像は録音終了まで表示されます。
設定の仕方は、P.61「設定の変更をする」を参照してください。

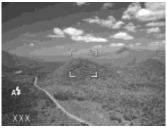
クイックビュー



シャッターを押して撮影



約3秒間表示



撮影モード画面に戻る

音声メモ

録音をしない場合は、約3秒間表示



画像が表示されたら、(選択レバー)の OK を押して、録音開始



録音開始から30秒、または(選択レバー)の OK を押して、録音終了

メモ

- **(シャッターボタン)(W　T)を押すとクイックビュー表示が消え、すぐ撮影に入れます。**
- **連写モードでは、クイックビューの設定に関わらず、撮影するたびに短時間の画像を表示します。音声メモは最後の1コマに添付されます。**
- **音声メモを設定して録音を開始しない場合は、クイックビューと同様に約3秒後に撮影モード画面に戻ります。**

音声メモの再生

再生モードで画像の左上に〖♪〗が表示されたら､その画像には音声メモが添付されています。音声メモを再生するには､(選択レバー)の OK を押します。(☞P.50「動画・音声メモを再生する」)

メモ

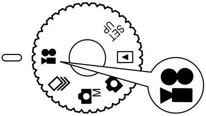
音声メモは､消去したり､録音し直したりできます。(☞P.56「音声メモの消去/録音」)

動画の撮影

動画モードに設定すると、音声付きの動画を撮影できます。動画モードでは、画像サイズと圧縮率を設定できます。

1 (モードダイヤル)**で、動画モードにします。**

動画モード画面が表示されます。



2 **「画像サイズ」「圧縮率」を設定します。**

① (MENU)を押します。項目の選択画面になります。

② (選択レバー)を▲▼に動かして「画像サイズ」または「圧縮率」を選び、(選択レバー)のOKを押すか、(選択レバー)を▶に動かします。詳細の選択画面になります。

③ (選択レバー)を▲▼に動かして詳細（★★★・★★・★またはF・N）を選び、(選択レバー)のOKを押し、設定完了です。

④ 設定を続ける場合は②③をくり返します。

⑤ (MENU)を押し、動画モード画面に戻します。

「画像サイズ」の設定画面





ファイルサイズ	大 ←――――→ 小		
画像サイズ（ピクセル）	★★★高精細（640 × 480）	★★精細（320 × 240）	★標準（160 × 120）
圧縮率	F ファイン（高画質）		N ノーマル（標準画質）

メモ

- **動画撮影は、設定を変えるまで、現在の設定を保持します。**
- **動画撮影中はオート OFF になりません。**

3 動画を撮影します。

① (シャッターボタン)を全押しします。
撮影が開始されます。
音声も録音されます。レンズ近くのマイク（☞P.9「各部の名称」）をふさがないようにしてください。

② もう一度、(シャッターボタン)を全押しします。
撮影が終了します。



画像サイズ／圧縮率

撮影中は、録画秒数をカウントアップ表示
撮影可能秒数が残り 5 秒になると、赤字で表示

メモ

- フォーカスフレームは撮影開始まで表示されます。
- デジタルズームの設定を ON にすると、撮影中にデジタルズームが使えます。（☞**P.60**「カメラの設定」）
- 動画撮影中は、ピントが固定されます。また(W T)を押すとデジタルズームになります。
- ズームバーは表示されません。
- 光学ズームは撮影開始まで使用できますが、撮影中はデジタルズームになります。
- メモリカードの空き容量が少ない場合は、撮影できないことがあります。（☞**P.83**「エラーメッセージが表示される」）

動画の再生はP.50「動画・音声メモを再生する」、消去はP.32「画像を 1 枚ずつ消去する」、P.53「連続画像消去」、P.54「全画像消去」を参照してください。

動画撮影時間の目安

メモリカード	16MB		256MB	
圧縮率 / サイズ（ピクセル）	N ノーマル	F ファイン	N ノーマル	F ファイン
★★★ 高精細 （640 × 480）	約 10 秒	約 3 秒	約 4 分 30 秒	約 1 分 40 秒
★★ 精細 （320 × 240）	約 20 秒	約 9 秒	約 6 分 30 秒	約 3 分 20 秒
★ 標準 （160 × 120）	約 1 分 20 秒	約 40 秒	約 25 分	約 13 分 20 秒

※ 動画撮影時間は目安であり、被写体やメモリカードによって変わります。特に細かな部分が多い画像を撮影すると時間が短くなります。

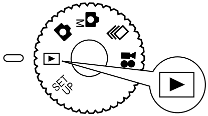
※ マルチメディアカードやデータ書き込み速度の遅いメモリカードを使用された場合、上記の表にある秒数まで記録できないことがあります。

※ メモリカードに静止画や P.I.F. フレームなどのデータを記録している場合は、動画録画秒数は少なくなります。

動画・音声メモを再生する

再生モードで画像の右上にアイコンが表示されます。🎥は動画、[♪] は音声メモが添付されている画像です。

1 (モードダイヤル)で、再生モードにします。



2 (選択レバー)を▲▼◀▶に動かして、動画または音声メモ付き画像を選びます。



1 コマ表示の場合、動画は青い枠で囲まれています。また、▲▼ では選ぶことができません。



動画アイコン　音声メモアイコン

3 (選択レバー)のOKを押します。

再生が始まります。再生中は、次の操作ができます。

▲▼ : 音量を調節します。
　ボタンを押すと次のアイコンが画面右上に白色で表示され、音量の状態を示します。

無音　小　中　大

OK : 一時停止します。
　再開するときは再度押します。

◀: 再生を終了します。
　再生の途中で終了できます。

音声メモの再生



再生時間の経過を表示

動画の再生



4 再生が終了すると、手順2の画面に戻ります。

メモ

音声メモは、消去したり、録音のやり直しができます。（☞P.56「音声メモの消去 / 録音」）

再生メニューの機能

再生メニューで、画像データの消去やコピー、自動再生などができます。DPOF（Digital Print Order Format）による印刷予約も再生メニューで行います。

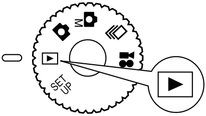
メニュー	設定項目	目的	参照
1	画像連続消去	1コマずつ画像を確認しながら、連続して画像データを消去できます。	P.53
	全画像消去	メモリカード内のすべての画像データを消去できます。	P.54
	連写グループ消去	連写されたグループ内の画像データをすべて、または選んで消去できます。	P.54
	スライドショー	メモリカード内のすべてのデータを撮影順に連続して自動再生します。	P.55
	音声メモ	静止画に音声メモを添付したり、消去したりできます。	P.56
	情報表示	画像情報の表示の切り替えができます。	P.57
	画像回転	画像を回転させることができます。	P.57
2	印刷予約(DPOF)	印刷予約ができます。	P.58

再生メニューの設定をする

再生メニューの設定の仕方を説明します。再生メニューを表示してから、設定項目を選びます。設定値の指定（または動作の実行）の仕方は各項目によって異なります。

1 (モードダイヤル)で、再生モードにします。

「連写グループ消去」「音声メモ」を設定する場合は、ここで対象となる画像を選び表示しておきます。



2 (MENU)を押します。

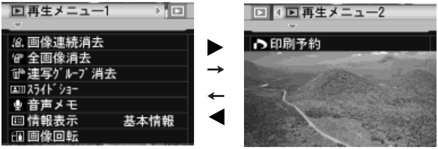
「再生メニュー 1」画面が表示されます。

再生モードの機能

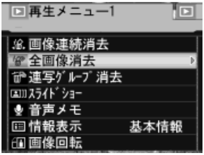
3 (選択レバー)を◀▶に動かし、実行する項目のあるメニュー画面を選びます。

再生メニューは、2画面あります。

再生メニュー1　　　　再生メニュー2



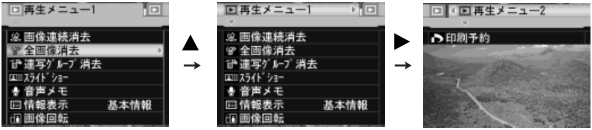
4 (選択レバー)を▲▼に動かして実行する項目を選び、(選択レバー)の(OK)を押す、または(選択レバー)を▶に動かします。



5 実行する項目を指定します。

操作のしかたは、P.51「再生メニューの機能」の参照欄が示すページを参照してください。

項目を指定すると、「再生メニュー」画面に戻ります。続けて別の項目を選ぶことができます。「再生メニュー」画面を切り替える場合は、(選択レバー)を▲に動かして、一旦現在のメニュー画面名（「再生メニュー1」など）を選んでから◀▶に動かします。



6 設定が終わったら、(MENU)を押します。

再生モード画面が表示されます。

メモ

途中で操作を中止する場合は、(MENU)を押します。押すごとに一つ前の画面に戻ります。

まとめて画像を消去する

メモリカード内の画像をまとめて消去します

次の方法があります。

- 画像連続消去
- 全画像消去
- 連写グループ消去

メモ

- **一度消去した画像は復元できません。**
- **他社製のカメラで撮影した画像は消去できません。**

■ 画像連続消去

1 コマずつ画像を確認しながら、連続して画像データ（動画も含む）を消去できます。

1 「再生メニュー 1」画面で、「画像連続消去」を選びます。

P.51「再生メニューの設定をする」の手順 1 ～ 4 の操作をします。

2 (選択レバー)を◀▶に動かして、消去する画面を選びます。

3 (選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選び、(選択レバー)の OK を押します。

画像が消去されます。

4 必要に応じて、手順 2、3 を繰り返し画像を消去します。

全画像が消去されると、「画像がありません」と表示されます。

■ 全画像消去

メモリカード内のすべての画像データを消去できます。

1 「再生メニュー 1」画面で、「全画像消去」を選びます。

P.51「再生メニューの設定をする」の手順 1～4 の操作をします。

2 (選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選び、(選択レバー)の OK を押します。

画像が消去され、「画像がありません」と表示されます。

メモ

「全画像消去」を実行しても、P.I.F. フレームのデータは消去されません。

■ 連写グループ消去

1 回のシャッター動作で連写した画像をまとめて、連写グループと呼びます。
「連写グループ消去」を選ぶと、再生モード画面で表示されていた画像を含む連写グループの画像が表示されます。
(消去マーク)が表示されている画像データを消去します。再生メニューから進んだときは、すべての画像に(消去マーク)が付いています。連写グループのうち一部の画像を残したいときは、残したい画像の(消去マーク)を外してから消去実行します。

1 「再生メニュー 1」画面で、「連写グループ消去」を選びます。

P.51「再生メニューの設定をする」の手順 1～4 の操作をします。
再生モード画面で、連写画像を表示してから「再生メニュー」画面に進んでください。

2 (選択レバー)を◀▶に動かして画像を確認します。消去しない画像は、▲▼に動かして(消去マーク)を消します。

▲▼に1回動かすごとに、(消去マーク)の表示/非表示が切り替わります。
1グループすべての画像を消去する場合は、(消去マーク)を消さずに次の手順に進みます。



3 **消去する画像が決まったら、(選択レバー)の OK を押します。**

4 **(選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選び、(選択レバー)の OK を押します。**

画像が消去されると、「再生メニュー 1」画面に戻ります。
連写画像がなくなると、「連写グループ消去」はグレー表示になり選ぶことができなくなります。

スライドショー

メモリカードの画像を自動的に連続再生します。

1 **「再生メニュー 1」画面で、「スライドショー」を選びます。**

P.51「再生メニューの設定をする」の手順 1 ～ 4 の操作をします。

2 **(選択レバー)の OK を押します。**

スライドショーが始まります。
再生中は、次の操作ができます。

OK ：一時停止します。
　　再開するときは、(選択レバー)の OK を押します。
▶ ：次の画像へスキップします。



3 **再生を終了するときは、(選択レバー)を◀に動かします。**

「再生メニュー 1」画面に戻ります。

メモ

- スライドショーは、静止画も動画もすべての画像が、再生モード画面で表示されていた画像から撮影順に繰り返し再生されます。静止画 1 コマの表示時間は、約 3 秒間です。
- スライドショーの再生中は、オート OFF になりません。

音声メモの消去 / 録音

画像に添付された音声メモを消去したり、新しく音声メモを録音できます。

1 「再生メニュー 1」画面で、「音声メモ」を選びます。

P.51「再生メニューの設定をする」の手順 1 〜 4 の操作をします。

再生モード画面で、音声メモを編集する画像を表示してから「再生メニュー」画面に進んでください。

2 (選択レバー)を▲▼に動かして項目を選びます。

再生：音声メモを再生します。
消去：音声メモを消去します。
録音：音声メモを録音します。

再生モード画面で、音声メモなし画像を表示していた場合は、「再生」「消去」はグレー表示になり選ぶことができません。

3 (選択レバー)の OK を押します。

再生の場合

再生が始まります。
P.50「動画・音声メモを再生する」の手順 2 を参照してください。

消去の場合

「音声メモを消去します」の画面が表示されます。
(選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選び、(選択レバー)の OK を押します。

録音の場合



録音が始まります。
再生モード画面で、音声メモ付き画像を選んでいた場合は、上書きしてもいいか、確認画面が表示されます。
30 秒間録音するか、もう一度(選択レバー)の OK を押すと、録音は終了します。

4 音声メモ画面に戻ります。

★ (MENU)を押すと、「再生メニュー 1」画面に戻ります。

情報表示

画面の情報表示を替えることができます。

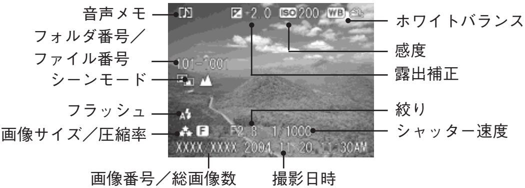
1 「再生メニュー1」画面で「情報表示」を選びます。

P.51「再生メニューの設定をする」の手順1～4の操作をします。

2 (選択レバー)の▲▼を動かして項目を選び(選択レバー)のOKを押します。

基本情報： 標準の表示をします。
詳細情報： 撮影内容の詳細を表示します。
表示OFF： 情報表示をしません。

詳細情報の例



画像回転

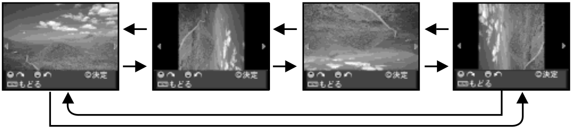
画像を回転させることができます。

1 「再生メニュー1」画面で「画像回転」を選びます。

P.51「再生メニューの設定をする」の手順1～4の操作をします。

2 (選択レバー)を▲▼に動かします。

▲▼に動かすごとに回転していきます。



◀ ▶：次の画像に進みます。　　OK：決定
(MENU)：「再生メニュー1」画面に戻ります

印刷予約（DPOF）する

印刷予約（DPOF は Digital Print Order Format の略称）では、画像をプリントするための情報（プリントしたい画像とその枚数の指定など）をメモリカードに記録します。
DPOF 情報を用意しておけば、プリント店へメモリカードを持ち込む際に、店頭での面倒な枚数指定が不要になります。また、DPOF ファイルに対応しているプリンタやソフトでも利用でき、印刷時の指定が簡単になります。
本機では、画面で画像を確認しながらDPOFに対応したプリントアウト指定ファイルを作成できます。

■ 印刷予約（DPOF）の設定のしかた

1 「再生メニュー 2」画面で、「印刷予約」を選びます。

P.51「再生メニューの設定をする」の手順 1 〜 4 の操作をします。

2 画像を選んで、印刷枚数を指定します。

操作のしかたは、P.38「選んで印刷」の手順 1を参照してください。



メモ

1 画像につき 99 枚まで指定できます。

3 設定ができたら、(選択レバー)の OK を押します。

DPOF 情報が保存され、「再生メニュー 2」画面に戻ります。

メモ

- **印刷予約（DPOF）を作成し、メモリカードを DPOF ファイルに対応したプリンタにセットすると、指定した画像を簡単に印刷することができます。**
- **P.I.F. 撮影（P.28「P.I.F. フレームをつけて撮影する」）し、印刷予約（DPOF）したデータをメモリカードに入れてPM-D750などのカードスロット付プリンタで印刷すると、メモリカードに入っているP.I.F. フレームのひとつが合成されて印刷されることがあります。その場合は、プリンタのパネル設定で解除してください。**

P.I.F. フレームをコピー / 消去する

P.I.F.フレームのコピー／消去は動画モード以外のモードで行うことができます。

メモ

P.I.F. フレームは、カメラ、メモリカードのどちらにも登録できます。登録数は P.I.F. フレームのデータ量やメモリカードの容量により異なります。

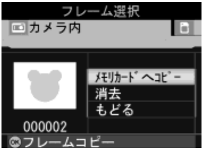
P.I.F. フレームをコピー / 消去する

どのモードも操作のしかたは同じです。カメラとメモリカード間でコピーできます。

1 P.I.F. フレーム選択画面 で、コピーまたは消去する P.I.F. フレームを選び、(MENU)を押します。

P.28「P.I.F. フレーム付きで撮影する（P.I.F. 撮影）」の手順 1〜3の操作をします。

2 (選択レバー)を▲▼に動かして項目を選びます。



★ 操作を中止する場合は、「もどる」を選び (選択レバー)の OK を押すか、(MENU)を押します。P.I.F. フレーム選択画面に戻ります。

3 (選択レバー)の OK を押します。



コピーの場合

コピー を開始します。

消去の場合

(選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選び、(選択レバー)の OK を押します。

P.I.F. フレームのデータが消去されます。

コピー / 消去が完了すると、手順 1の画面に戻ります。続けて、別のP.I.F. フレームのコピー / 消去ができます。

4 作業を終了するときは、(P.I.F.)を押します。

SETUP モードでできること

SETUP モードでカメラの機能設定を変更できます。動作音の変更、メモリカードのフォーマットなども、このモードで行います。

SETUP モードでは、以下の機能が設定できます。

<table>
<tr><th>画面</th><th>設定項目</th><th colspan="2">目的</th><th>初期状態</th></tr>
<tr><td rowspan="7">セットアップ1</td><td>クイックビュー / 音声メモ</td><td colspan="2">撮影直後の画像の状態を次の中から設定します。
•3 秒間表示　•非表示　•音声メモを録音する</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>液晶明るさ</td><td colspan="2">モニタの明るさを調整します。十側で明るく、一側で暗くなります。</td><td>±0</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="2">デジタルズームの ON/OFF を設定します。</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>オート OFF</td><td colspan="2">自動で電源が切れる時間を設定します。</td><td>3 分</td></tr>
<tr><td>起動画面設定</td><td colspan="2">電源を入れたときに表示される画像を設定します。</td><td>ロゴ</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td colspan="2">メモリカードを初期化します。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>設定リセット※ 1</td><td colspan="2">カメラの設定を初期状態に戻します。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td rowspan="3">セットアップ2</td><td>日時設定</td><td colspan="2">日時、表示形式を設定します。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>連番リセット</td><td colspan="2">メモリカードをフォーマットまたは入れ替えた際、ファイル名「EPSNXXXX.xxx」に付けられる番号部分（XXXX）を 0001 からの連番にするか、今まで撮影した累積の番号にするかを設定します。</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>言語選択</td><td colspan="2">画面の表示言語を設定します。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td rowspan="6">サウンド</td><td>サウンド</td><td colspan="2">動作音の発音 / 消音を設定します。</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>操作音</td><td>ボタンの操作音を変更します。</td><td rowspan="5">サウンドデータのコピー、消去ができます。</td><td rowspan="5">電子音
大</td></tr>
<tr><td>シャッター音</td><td>シャッター音を変更します。</td></tr>
<tr><td>連写音</td><td>連写音を変更します。</td></tr>
<tr><td>フォーカスロック音</td><td>フォーカスロック音を変更します。</td></tr>
<tr><td>セルフタイマ音</td><td>セルフタイマ音を変更します。</td></tr>
<tr><td>※ 2</td><td>フレームデータ管理</td><td colspan="2">P.I.F. フレームのデータのコピー、消去ができます。</td><td>ー</td></tr>
</table>

※ 1「設定リセット」でカメラの設定を初期状態（ご購入時の設定）に戻しても、「日時設定」、「言語選択」は戻す前の設定が保持されます。

※ 2 (P.I.F.)を押して表示される画面で行います。

カメラの設定を変更する

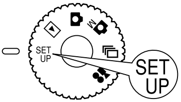
設定の変更をする

SETUP モードの基本的な設定の仕方を、「クイックビュー／音声メモを OFF にする」を例にして説明します。
次の設定については、☞で示すページを参照してください。

- 起動画面設定の登録画面の登録（☞P.63「起動画面に撮影した画像を表示する」）
- シャッター音など各動作音の設定（☞P.64「動作音を変更する」）
- P.I.F. フレームのデータ管理（☞P.59「P.I.F. フレームをコピー / 消去する」）

1 （モードダイヤル）で、SETUP モードにします。

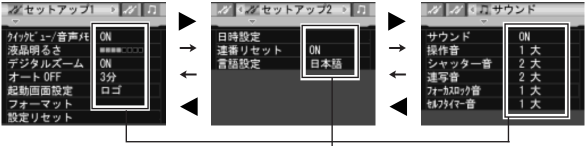
「セットアップ 1」画面が表示されます。



2 （選択レバー）を◀▶に動かして、設定する項目のあるメニュー画面（セットアップ 1）を選びます。

メニューは、3 画面あります。

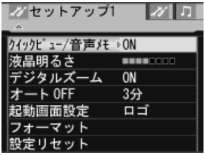
セットアップ 1　　セットアップ 2　　サウンド



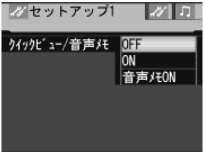
現在の設定を表示

設定する項目を選んでいるときはメニュー画面の切り替えができません。切り替えるときは、（選択レバー）の▲で一旦現在のメニュー画面名（「セットアップ 1」など）を選んでから ◀▶に動かします。

3 （選択レバー）を▲▼に動かして設定項目（クイックビュー / 音声メモ）を選び、（選択レバー）の OK を押す、または▶に動かします。



4 (選択レバー)を▲▼に動かして設定値（「OFF」）を選び、(選択レバー)の(OK)を押します。



設定を変更（フォーマットなどは実行）して、手順3の画面に戻ります。

「液晶明るさ」は(選択レバー)を◀▶に動かして調整します。
「日時設定」は(選択レバー)を◀▶に動かして変更箇所を選び▲▼に動かして設定値を選びます。

★ (MENU)を押すと、新しい設定を取り消して、手順3の画面に戻ります。

続けて、別の設定変更ができます。
メニュー画面を切り替えるときは、(選択レバー)の▲で、現在のメニュー画面名（「セットアップ2」など）を選んでから◀▶で切り替えます。

フォーマット（初期化）について

フォーマットとは、メモリカードを使用機器で書き込みできる形式にすることです。
次のメモリカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

- 購入後初めて使用するメモリカード
- パソコンでフォーマットしたメモリカード
  （パソコンや他のデジタルカメラでフォーマットしたメモリカードは、本機で読み書きできないことがあります。）

フォーマットを行うと、メモリカードに保存されているすべてのデータが消去されます。P.I.F.フレームや動作音も消去されます。フォーマットをする前に、大切なデータが保存されていないか、確認してくださざい。

メモ

連番リセットを「ON」にしておくと、メモリカードのフォーマットと同時に、ファイルに付けられる連番もリセットされ、0001 から開始されます。（☞P.60「連番リセット」）

注意

- 一旦フォーマットを実行すると、途中で中止はできません。また、消去されたデータは復元できません。
- フォーマット中は電源を切ったり、メモリカードを取り出したりしないでください。メモリカードが正常に動作しなくなるおそれがあります。

起動画面に撮影した画像を表示する

撮影した画像を、電源を入れたときに表示する画面（起動画面）に設定できます。

■ 画像の設定のしかた

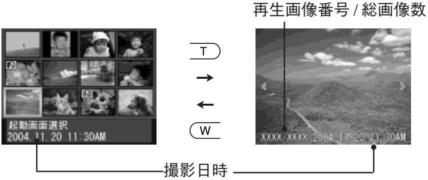
1 「起動画面設定」画面の「登録」を選び、選択レバーのOKを押します。

P.61「設定の変更をする」の手順1～4と同様の操作をして、「セットアップ 1」→「起動画面設定」→「登録」を選びます。
画像選択画面が表示されます。



2 選択レバーを▲▼◀▶に動かして設定する画面を選び、選択レバーのOKを押します。

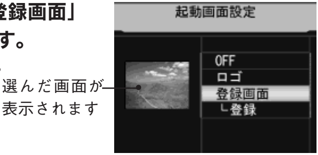
W Tを押すと、1コマ表示/12コマ表示を切り替えることができます。



> **メモ**
> 1コマ表示時は、▲▼は無効となります。

3 選択レバーを▲▼に動かして「登録画面」を選び、選択レバーのOKを押します。

「セットアップ 1」の画面に戻ります。



動作音を変更する

シャッター音やセルフタイマ音などの動作音の種類や音量を変更できます。
ご購入時は、電子音の他に2つの動作音がカメラに登録されており、その中から選ぶことができます。付属のCD-ROMにも動作音ファイルが収納されています（[Sounds]フォルダ）。エプソンのホームページ「http://www.i-love-epson.co.jp」から別の動作音ファイルをダウンロードして利用することもできます。

メモ

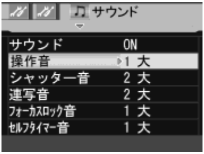
- **動作音は、サウンド画面の「サウンド」がOFFに設定されているときは、設定することはできません。**
- **「サウンド」設定でOFFにすると、すべての動作音が鳴らないように設定されます。「サウンド」設定をONにし各動作音の設定で、それぞれ動作音ごとに鳴らす/鳴らさないを設定することもできます。**

■ 動作音の設定をする

まず、「サウンド」画面で設定する動作音を選び、それぞれの動作音の動作音設定画面で設定項目を選びます。

1 「サウンド」画面の変更したい操作音を選びます。

P.61「設定の変更をする」の手順1〜3と同様の操作をします。
動作音設定画面が表示されます。どの動作音を選んでも、同じ内容の画面が表示されます。



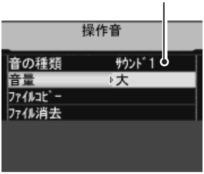
2 (選択レバー)を▲▼に動かして設定項目を選び、(選択レバー)のOKを押す、または▶に動かします。

以降の操作は、設定項目によって異なります。☞で示すページに進んでください。

音の種類/音量（☞P.65）
音種や音量を変更できます。

ファイルコピー/ファイル消去（☞P.65）
動作音ファイルをカメラ本体とメモリカードの間でコピーできます。

現在選んでいる動作音名



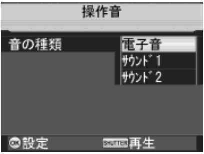
■ 音の種類 / 音量を変える

P.64「動作音の設定をする」の手順 1～2 の操作をして、「音の種類」または「音量」を選びます。

1 **(選択レバー)を▲▼に動かして設定値を選び、(選択レバー)のⓄⓀを押します。**

(シャッターボタン)を押すと選んでいる音を聞くことができます。

音の種類



電子音：　電子音を設定
サウンド1：サウンド1 を設定
サウンド2：サウンド2 を設定

音量



大：　音量を大に設定
小：　音量を小に設定
OFF：鳴らさないように設定

設定を変更して、手順 2 の画面に戻ります。

★ (MENU)を押すと、設定を変更しないで前ページ「動作音の設定のしかた」手順 2 の画面に戻ります。

続けて、別の設定を変更できます。操作音を選び直す場合は、(MENU)を押して、「サウンド」画面に戻ります。

■ 動作音ファイルのコピー / 消去

カメラ本体とメモリカードの間で動作音ファイルをコピーできます。また、カメラ本体で消去できます。

新しい動作音ファイルは、パソコンで EPSON Photo!4（☞P.69「付属ソフトウェアについて」）を使って、あらかじめメモリカードにコピーし、メモリカードからカメラ本体にコピー（登録）します。

各動作音とも同じ手順で、動作音ファイルをコピー / 消去できます。

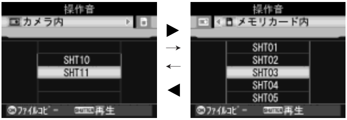
メモ

- **カメラ本体にコピー（登録）できる動作音ファイルは、各動作音にそれぞれ 2 つまでです。**
- **ご購入時に、カメラ本体には 2 つの動作音ファイルが登録されています。新たにコピー（登録）する際は、既存の動作音ファイルを消去してください。既存の動作音ファイルは、必要に応じてメモリカードにコピーしてバックアップをとってください。**

P.64「動作音の設定をする」の手順1〜2の操作をして、「ファイルコピー」または「ファイル消去」を選びます。

1 (選択レバー)を◀▶に動かしてコピーまたは消去する動作音ファイルが入っている項目を選びます。

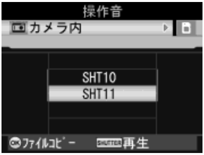
「カメラ内」または「メモリカード内」を選びます。



2 (選択レバー)を▲▼に動かして、動作音ファイルを選びます。

(シャッターボタン)を押すと、その動作音を聞くことができます。

★ 操作を中止する場合は、(MENU)を押します。P.64「動作音の設定をする」手順2の画面に戻ります。



3 (選択レバー)のOKを押します。

ファイルコピーの場合

コピーを開始します。
コピー先に十分な空き容量がない場合は、それを示すメッセージが表示され、約5秒後に手順2の画面に戻ります。

メモ

コピー先に同名の動作音があるときは、上書き確認のメッセージが表示されます。「実行」を選び(選択レバー)のOKを押すと上書きコピーされます。

ファイル消去の場合

消去確認画面が表示されます。(選択レバー)を▲▼に動かして「実行」を選び、(選択レバー)のOKを押します。ファイルが消去されます。

コピーまたは消去が完了すると、手順2の画面に戻ります。

続けて、コピー/消去ができます。動作音画面や「サウンド」画面に戻る場合は、目的の画面が表示されるまで(MENU)を押します。

■ 別の動作音を登録する

動作音ファイルは、エプソンのホームページから入手することができます。

1 動作音ファイルをインターネットから入手します。

エプソンのホームページ「http://www.i-love-epson.co.jp」にアクセスして、動作音ファイルを入手します。

2 動作音ファイルをメモリカードへコピーします。

パソコンに取り込んだ動作音ファイルを、EPSON Photo! 4を使ってメモリカードへコピーします。EPSON Photo!4は付属のCD-ROMからインストールしてください（☞P.69「付属ソフトウェアについて」）。詳しい操作については、ソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

3 カメラ本体へ登録します。

SETUPモードで、メモリカードにコピーした動作音ファイルを、カメラにコピー（登録）します。（☞P.65「動作音ファイルのコピー / 消去」）
コピー（登録）した動作音に変更します。（☞P.65「音の種類 / 音量を変える」）

メモ

セルフタイマ音専用の動作音はシャッター音やフォーカスロック音には使用できません。（付属のCD-ROMに収納されている動作音ファイルやエプソンのホームページからダウンロードできる動作音ファイルには、再生時間が長いセルフタイマ音専用の動作音があります。）
メモリカードにセルフタイマ音専用の動作音ファイルが保存されていても、シャッター音、フォーカスロック音の登録時には表示されず、コピー（登録）できません。

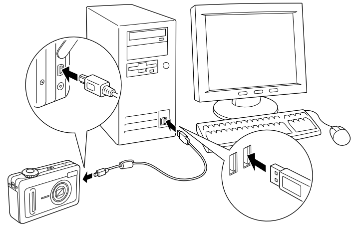
パソコンで画像を活用する

パソコンと接続する

カメラとパソコンを接続して画像をパソコンにコピーすると、インターネットで使ったり、画像を加工したりと、いろいろな使い方ができます。

接続のしかた

付属の接続ケーブルを使ってパソコンと接続します。



USB コネクタは、奥までしっかりと差し込んでください。
コンピュータ側は、USB コネクタが奥までしっかりと差し込めないことがありますが、突き当たるまで差し込んであれば問題ありません。

※ イラストは例です。パソコン側のUSBコネクタについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

注 意

- パソコンと接続する際は、必ずカメラの電源を切ってください。
- コネクタカバーは強く引っ張らないでください。破損するおそれがあります。
- 本機の電源は必ずソフトウェアのインストールの後（☞P.70）にオンにしてください。

メモ

- **接続ケーブルを外すときは、① Windows（Me/2000/XP）では「ハードウェアの安全な取り外し」を行い、Macintosh では、カメラアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。②カメラの電源を切ります。③パソコン側のUSB コネクタを抜いてから、カメラ側の USB コネクタを抜いてください。**
- **撮影した画像は、メモリカードの「¥ DCIM¥XXXEPSON」（XXX：3 桁の数字）フォルダに保存されています。**
- **本機は、PRINT Image Matching II および Exif2.21 に対応しており、撮影時の露出や色情報に最適な設定で印刷できます。この機能を利用するには、お使いのソフトウェアやプリンタが各機能に対応している必要があります。ダイレクトプリント時には、この機能を活かした最適なプリントをお楽しみいただけます。**
- **パソコン接続中は、イルミネーションランプが青く点滅します。**
- **簡単に撮影データをパソコンに取り込むにはEPSONカメラスタータから「保存」をクリックします。EPSON カメラスタータは付属のCD-ROM からインストールしてください。（☞P.69「付属ソフトウェアについて」）**

本機には「EPSON Photo!４」など、画像を一層楽しめるソフトウェアが同梱されています。

ソフトウェアの紹介

CD-ROM に収録されているソフトウェアを紹介します。

- EPSON CardMonitor（カードモニター）
  コンピュータの PC カードスロットや本機のメモリカードスロットを監視するソフトウェアです。
- EPSON Photo!4（フォトフォー）（Photo!4、カメラスタータ、オートダウンローダ）
  EPSON Photo!4 は、音声データをコピーしたり、写真の閲覧、コピーや消去をするためのソフトウェアです。写真をインターネットで公開することもできます（Upload to Web 機能）。
  カメラスタータは、保存や印刷などに必要なソフトウェアを起動します。
  オートダウンローダは、カメラスタータと連動してカメラの写真をパソコンにダウンロード（保存）します。
- QuickTime（クイックタイム）
  EPSON Photo!4 で動画を再生するために必要なソフトウェアです。
- EPSON L-500V USB ストレージドライバ
  Windows 98/Me で動作するパソコンとカメラを接続するためのドライバです。
  Windows 2000/XP、Macintosh では必要ありません。
- PIF DESIGNER（ピフ デザイナー）
  P.I.F. フレームを作成・編集できます。
- EPSON PRINT Image Framer Tool（プリント イメージ フレーマ ツール）
  P.I.F. フレームをメモリカードに保存して P.I.F. 撮影 / 印刷できるようにします。

メモ

- **CD-ROM にはいくつかの P.I.F. フレームが収録されています。（Windows：［PIFFRAME］フォルダ、Macintosh：［P.I.F. フレーム集］フォルダ）ご利用ください。**
- **カメラ本体で利用できるP.I.F.フレームとパソコンで利用できるP.I.F.フレームは異なります。**

ソフトウェアのインストール

■ 使用可能なコンピュータ

付属のソフトウェアをご利用いただけるコンピュータのOS（オペレーティングシステム）は、次の通りです。

ソフトウェア名称	Windows	Macintosh
EPSON CardMonitor QuickTime	98/Me/2000/XP	Mac OS 8.6〜Mac OS 9.2.x Mac OS X（10.2 以降）
EPSON Photo!4 PIF DESIGNER EPSON PRINT Image Framer Tool	98/Me/2000/XP	Mac OS 9 (9.1 以降)、 Mac OS X（10.2 以降）

メモ

WindowsでUSB 接続するためには、次の条件のいずれかを満たしている必要があります。

- **Windows 98/Me/2000/XP のいずれかがプレインストール（購入時すでにインストール）されているコンピュータ。**
- **Windows 98 がプレインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ。**
- **Windows Me/2000 がプレインストールされていて、Windows XP にアップグレードしたコンピュータ。**
- **上記いずれかのコンピュータで、USBに対応し、コンピュータメーカーによりUSBポートの動作が保証されているコンピュータ。**

■ インストールの準備

- 他のアプリケーションソフトを起動している場合は、終了してください。
- ウイルス監視ソフトウェアをお使いの場合は、一時的に使用を中断してください。

■ インストール方法

パソコンを起動してソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットします。

メモ

- **Windows 2000 にソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administratorsグループに属するユーザー）でログオンする必要があります。**
- **Windows XP にインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログインする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。**
  Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

1 右の画面が表示されたら、① ウィルスチェックプログラムを終了して、② ［続ける］をクリックします。



メモ

右上の画面が表示されないときは

- **Windows XP の場合**
  ［スタート］－［マイコンピュータ］の順でクリックし、下記①・②の順で起動します。
- **Windows 98 /Me/2000 の場合**
  デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、下記①・②の順で起動します。


EPSON (E:)

①［マイコンピュータ］の中にある CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開き、


EPSetup.exe

②［EPSetup］アイコンをダブルクリックします。

- **Macintosh の場合**
  デスクトップ上の［EPSON］アイコンをダブルクリックしてください。

OS 9.x のアイコン


EPSON

OS X のアイコン



2 画面の内容を確認して、［同意する］をクリックします。

［同意しない］をクリックすると、インストールを終了します。



3 インストールするソフトウェアを確認して、［インストール］をクリックします。

初めてインストールする場合は、すべてのソフトウェアをインストールしてください。
Windows 2000/XP、Macintosh では、EPSON L-500V USB ストレージドライバは必要がないため表示されません。



メモ

インストールするソフトウェアを個別に指定する場合
［選択画面］をクリックして、必要なソフトウェアにチェックをつけます。インストールしたいソフトウェアにチェックが入った状態で、［インストール］をクリックします。

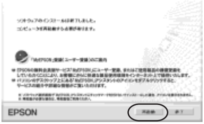
4 選んだソフトウェアがインストールされます。

操作を促す画面が表示されたときは、画面の指示に従ってインストールを進めてください。



5 右の画面が表示されたら、［再起動］をクリックしてコンピュータを再起動します。

［再起動］が表示されていない場合は、［終了］をクリックし、パソコンから CD-ROM を取り出します。



以上でインストールは終了です。

メモ

コンピュータの再起動を促すメッセージが表示された場合は､必ず再起動してください。

■「MyEPSON」登録のお願い

お客様に製品をより快適にお使いいただくために､「My EPSON」へのユーザー登録をお勧めします。「MyEPSON」に登録済みのお客様は､本製品を追加登録してください。
インストールが終了すると､デスクトップ上に「MyEPSON」登録用のアイコンができます。
アイコンをダブルクリックして､「MyEPSON」へ登録を行ってください。



ソフトウェアの起動方法

カメラとパソコンを接続し（P.68「パソコンと接続する」）、カメラの電源を入れ、ソフトウェアを起動します。

メモ

- パソコンと接続中は、カメラ本体の画面は表示されません。
- QuickTime は、EPSON Photo!4 で動画を再生するときに使用します。

■ Windows

①[スタート]ー[すべてのプログラム]または[プログラム]をクリックします。
　ここまでは共通です。
② 起動するソフトウェアごとに、次の順でクリックします。
　EPSON Photo!4 :[EPSON Camera]-[EPSON Photo!4]-[EPSON Photo!4]
　EPSON PRINT Image Framer Tool :[EPSON PRINT Image Framer]-[EPSON PRINT Image Framer Tool]
　PIF DESIGNER:[EPSON PRINT Image Framer]-[PIF DESIGNER]-[PIF DESIGNER]
　EPSON カメラスタータはカメラとパソコンを接続すると自動的に起動します。

メモ

Windows XP の場合は、カメラとパソコンを接続すると、Windowsが実行する動作を選択する画面が表示されます。この場合は［CardMonitor］をクリックして［OK］をクリックします。詳しくは、EPSON Photo!4 の電子マニュアルに記載されています。



■ Macintosh

ハードディスク内にある[ソフトウェア名]フォルダの[ソフトウェア名]アイコンをダブルクリックします。

例えばEPSON Photo!4ならば、ハードディスク内にある[EPSON Photo!4]フォルダにある[Photo!4]アイコンをダブルクリックします。
EPSON カメラスタータはカメラとパソコンを接続すると自動的に起動します。



Photo!4 の例

メモ

Mac OS X の場合は、カメラとパソコンを接続すると iPhoto が自動的に起動します。EPSON カメラスタータを起動するよう設定する場合は、EPSON Photo!4 の電子マニュアルをご覧ください。電子マニュアルの起動方法については次ページを参照してください。

ソフトウェアの使い方を知りたいときは

ソフトウェアの使い方は、ソフトウェアと一緒にインストールされた電子マニュアルでご案内しています。

■ 電子マニュアルの起動方法

EPSON Photo!4

Windows

次の順にクリックします。

[スタート] - [すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON Camera] - [EPSON Photo!4] - [EPSON Photo!4 オンラインヘルプ]

Macintosh

ハードディスク内にある［EPSON Photo!4］フォルダの［マニュアル］フォルダアイコンをダブルクリックしたあと、[INDEX.HTM］アイコンをダブルクリックします。

EPSON PRINT Image Framer Tool

EPSON PRINT Image Framer Toolを起動し（☞P.73「ソフトウェアの起動方法」）、メニューバーの［ヘルプ］をクリックしたあと、[操作マニュアル］をクリックします。

PIF DESIGNER

PIF DESIGNERを起動し（☞P.73「ソフトウェアの起動方法」）、メニューバーの［ヘルプ］をクリックしたあと、[操作マニュアル］をクリックします。

EPSON L-500Vストレージドライバのアンインストール

★ Windows 98/Meのみ

EPSON L-500Vストレージドライバをアンインストールしたいときは、以下の手順で操作してください。なお、アンインストールしてしまうと、本機とパソコンを接続できなくなりますので注意してください。

1 **［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

3 **［インストールと削除］タブ内で、［EPSON フォトデバイスUSBドライバ］を選択します。**

4 **［追加と削除］をクリックします。**

5 **［ファイル削除の確認］画面で［OK］をクリックするとアンインストールが行われます。**

「MyEPSON」について知りたい

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。
「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設※してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

※「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

ご登録いただいたお客様には次のようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのお勧め最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆ 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。
追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも付属の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

困ったときは

故障かな?と思ったら

■ お問い合わせいただく前に

質問や修理をご依頼される前に、「故障かな?と思ったら」をお読みください。

■ 故障のとき

次のような場合は故障と考えられますので、すぐに電池を抜いて使用を中断し、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター（☞裏表紙）にご連絡ください。

- カメラ本体、電池が極端に発熱する（非常に温度が高い）、ケースに変形が起こる。
- 変な臭いや、嫌な音がする、煙が出る。

カメラ本体には、お客様自身で修理・交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センターにお問い合わせください。エプソン修理センターの連絡先は裏表紙の一覧表をご覧ください。

注 意

カメラ内部及び、ＡＣアダプタ（別売）などには、高電圧の回路があります。分解はしないでください。感電のおそれがあります。

本体のトラブル

■ 電源が入らない

電池が正しくセットされていますか?

向きに注意して正しくセットしてください。（☞P.11「電池のセット」）

電池残量は十分にありますか?

電池残量が少なくなると、画面に が表示されます。 が表示されたら電池を充電、または交換してください。（☞P.15「電池残量」）

■ 動画の撮影時間が短い / 連写時の撮影間隔が長い

写真や動画の撮影や消去を繰り返し行ったメモリカードを使用していませんか？

メモリカードのデータをパソコンに保存し、メモリカードのフォーマットを行うと改善される場合があります。（☞P.62「フォーマット（初期化）について」）

■ 撮影できない、音声メモが録音途中で終わる

電源が入っていますか?

前ページ「電源が入らない」を参照し、対処してください。

画面の残り撮影可能枚数の表示が 0 になっていませんか?
メモリカードの空き容量は十分にありますか?

メモリカードの空き容量がないと、撮影できません。動画は、メモリカードの空き容量が少ない場合は撮影できないことがあります。音声メモは 30 秒間録音できないことがあります。(☞P.83「エラーメッセージが表示される」)
データを消去するか、空き容量のあるメモリカードをセットしてください。必要なデータはパソコンに転送して保存するなど、必ずバックアップを取ってから、データを消去してください。

■ 撮影に時間がかかる

シャッターボタンを一度に押し込んでいませんか?

シャッターボタンを一度に押し込んで撮影すると、ピント合わせや露出の決定などの処理を同時に行うため、シャッターボタンを押してから撮影されるまで長く感じられます。

■ フラッシュが発光しない

フラッシュの設定は正しいですか?

フラッシュが「発光禁止」に設定されているときには発光しません。目的に合ったフラッシュ設定に切り替えてください。(☞P.26「フラッシュの切り替え」)

■ モニタに画面が表示されない

カメラとパソコンを接続していませんか?

カメラとパソコンを接続しているときは、モニタに画面は表示されません。接続を外してください。

■ 撮影後、電源が切れる

オート OFF になっていませんか?

オート OFF の設定が「1 分」の場合、操作後 1 分後にオート OFF になります。設定を変更することもできます。(☞P.17「オートOFFについて」、P.61「設定の変更をする」)

■ 画面の表示が暗い、または明るすぎる

画面の明るさを調整しましたか？

モニタの明るさを調整してください。（☞P.20「画面を見やすくする（屋外モード）」☞P.61「設定の変更をする」）

■ 画面の縦方向に線が入る

強い光にカメラを向けていませんか?

カメラに強い光が入ると画面の縦方向に線が見えることがあります。その状態で撮影しても画像に縦方向の線は写りません。

■ 全てのランプが同時に点滅した

一度、電源を切ったあと、再度電源を入れてみてください。電源ボタンを押しても電源が切れない場合は、電池を外してセットし直すか、ACアダプタを抜いて接続し直すかして、電源を入れてください。それでも全てのランプが同時に点滅する場合は、本機の故障と思われますので、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター（☞裏表紙）へご相談ください。

撮影した画像のトラブル

■ ぼけている、ピントが合っていない

ピント合わせを正しく行いましたか?

本機はオートフォーカス機構を搭載しています。シャッターボタンを半押しすることでピントが合います。（☞P.21「シャッターを切る（静止画）」）

被写体からの距離は正しいですか?

通常の撮影では被写体から 50cm 以上離れて撮影してください。

ぼけている、ピントが合っていない

- 遠くを撮影しているのにマクロモードになっていませんか。マクロモードを解除してください。
- 近くを撮影しているのにマクロモードが解除されていませんか。マクロモードに設定してください。（☞P.25「近くのものを撮影する（マクロモード）」）

レンズが汚れていませんか?

レンズが汚れていたら、市販のブロアやエアブラシで汚れを吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。(☞P.87「本体の清掃」)

撮影時にレンズに手を触れませんでしたか?

撮影時にレンズに手を触れてしまうとレンズが汚れて画像がぼけてしまいます。レンズに触れないようにするためにも、カメラは正しく持つように心がけましょう。また、レンズが汚れてしまったら、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。(☞P.87「本体の清掃」)

撮影時に手ぶれしませんでしたか?

手ぶれを防ぐためには、脇を軽く締めてカメラを持ってください。手ぶれが心配な場合や、夜景などの暗い場所での撮影は、三脚をお使いください。

画像が暗すぎる

- フラッシュは、遠くには届きません。(☞P.25「フラッシュの届く範囲)
- 露出をプラスに補正してみてください。露出をプラスに補正することで、明るく撮影することができます。(☞P.45「画像の明るさを補正する ----- 露出補正」)
- 画面内に極端に明るい光があると、それによって全体が暗くなるときがあります。強い光が画面内に入らないようにしてください。または、フラッシュを使用してみてください。

画像が明るすぎる

- 強い光源に向かって撮影していませんか?
  カメラの向きを変えるなど、撮影方法を工夫してみてください。
- 被写体までの距離が近い場合、フラッシュを使わずに撮影してください。
- 露出をマイナスに補正してみてください。(☞P.45「画像の明るさを補正する ----- 露出補正」)

画像の一部が欠けている

レンズをふさいで撮影しませんでしたか?
手、ストラップなどで、レンズがふさがれた可能性があります。

印刷時のトラブル

印刷時のトラブルは、カメラ側のトラブルだけでなく、プリンタからの原因によっても起こります。併せてプリンタの使用説明書もご覧ください。

■ 印刷できない

カメラ本体、プリンタの電源は入っていますか？

電源を確認してください。印刷時は、カメラ本体、プリンタ両方の電源を入れてください。

ケーブルは正しく接続されていますか？

接続には、付属のケーブルを使い、接続を確認して使用してください。

インクがなくなっていませんか？

インクがなくなっていると印刷できません。黒、カラーインクのうち1色がなくなっても印刷できません。

用紙は正しくセットされていますか？

用紙がセットされていないと印刷できません。紙詰まりもチェックしてください。

対応プリンタを使用していますか？

お使いのプリンタが本機に対応しているか確認してください。（☞P.33「対応プリンタ」）

■ 印刷がきれいにできない / 印刷にムラがある

プリントヘッドの目詰まりはありませんか？

プリンタのノズルチェックおよびヘッドクリーニングを行ってください。

使用している用紙は正しいですか？

使用している用紙を確認してください。

- 普通紙へは印刷できません。
- 印刷設定の用紙種類と使用している用紙が合っていないと、適正な印刷結果は得られません。

よりきれいに印刷するためには、印刷設定の画像を「きれい」に設定してください。（☞P.41「用紙や画質を設定する」）

エラーメッセージが表示される

■ 撮影時

※再生時にも表示されることがあります。

メッセージ	原因と対処方法
メモリカードがロックされています。	原因：メモリカードのライトプロテクトが働いていて、書き込みができません。 対処：ライトプロテクトを解除してください。（☞P.12「SD メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止機能）について」）
メモリカードが異常です。※	原因：装着しているメモリカードに異常があります。 対処：メモリカードのメーカーへお問い合わせください。
メモリカードがありません。※	原因：メモリカードが入っていません。 対処：メモリカードをカメラにセットしてください。（☞P.12「メモリカード（別売）のセット」）
メモリカード内のメモリの空き容量が足りません。	原因：空き容量が足りません。特に動画の場合は、次の空き容量がないと撮影できません。 サイズ（ピクセル）　空き容量（以上） 160 × 120 ：約 316KB 320 × 240 ：約 616KB 640 × 480 ：約 2416KB 対処：不要なデータを消去するか、空き容量のあるメモリカードをセットしてください。
このフレームは使えません。	原因：P.I.F.フレームのファイルサイズが、制限サイズを超えています。または本機で扱えない P.I.F. フレームか、データが壊れています。 対処：使用できる P.I.F. フレームを再登録してください。（☞P.59「P.I.F. フレームをコピー / 消去する」）
メモリカードに登録できるフレーム数がいっぱいです。	原因：P.I.F. フレームの登録できる数がいっぱいです。 対処：P.I.F. フレームを消去してください。（☞P.59「P.I.F. フレームをコピー / 消去する」）
カバーが開いています。※	原因：電池 / メモリカードカバーが開いています。 対処：電池 / メモリカードカバーを閉じてください。（☞P.11「電池/メモリカードカバーの開閉のしかた」）

■ 再生時

メッセージ	原因と対処方法
画像がありません。	原因：メモリカードに画像がありません。 対処：本機で撮影済みのメモリカードをセットするか、撮影してから画像をご覧ください。
再生できません。	原因：再生できない画像を再生しようとしています。他社製カメラで撮影した画像やパソコンからコピーした画像は、再生できないものがあります。 対処：本機で撮影した画像を再生してください。
この画像は消去できません。ロックされているか、消去できない画像です。	原因：本機以外の機器で撮影された画像か、ロック（安易に消去できない状態）された画像を消去しようとしました。 対処：対象画像を撮影されたカメラで消去するか、パソコンなどでロックを解除して消去してください。
ロックされているか、消去できない画像がありました。	原因：全画像を消去しようとしましたが､本機以外の機器で撮影された画像か、ロックされた画像がありました。 対処：対象画像を撮影したカメラで消去するか、ロックを解除してください。
フレームがありません。	原因：P.I.F.確認時､再生するために必要なファイルが見つかりませんでした。 対処：P.I.F. フレームのリンクが外れているか、P.I.F. フレームが変更あるいは消去されています。 P.I.F. フレームの再登録をしてください。（☞P.59「P.I.F. フレームをコピー / 消去する」）
音声メモがないか、壊れています。	原因：本機で扱えない音声メモデータか、データが壊れています。 対処：音声メモを録音した機器で再生してください。

■ ダイレクトプリント時

メッセージ	原因と対処方法
メモリカード内の空き容量が足りません。	原因：空き容量が足りません。USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ（☞P.33）使用時にアルバム印刷を行う場合は、メモリカードの空き容量が少ないとアルバム印刷ができないことがあります。 対処：不要なデータを消去して、充分な空き容量を作ってください。不要なデータがない場合は、必ずバックアップを取ってから、データを消去してください。
電池残量が少なくなっています。	原因：電池残量が少なくなっています。 対処：電池残量が少ないと印刷途中で停止してしまいます。別売の AC アダプタ（☞P.8）を使用してください。
プリンタの接続状態と、電源が入っていることを確認してください。	原因：ケーブル未接続、非対応プリンタと接続、その他の機器と接続、プリンタ電源が入っていないかのいずれかです。 対処：対応プリンタかどうかを確認し（☞P.33「対応プリンタ」）、プリンタとケーブルを正しく接続（☞P.34「プリンタと接続する」）した後、プリンタの電源を入れてください。 原因：プリンタにケーブルが接続されていない、または電源が入っていません。 対処：プリンタに接続ケーブルを差し直して電源を入れてください。
用紙をセットしてください。	原因：プリンタに用紙がセットされていません。 対処：プリンタに用紙をセットし、プリンタの用紙ボタンを押してください。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。
プリンタにエラーが発生しています。	原因：プリンタにエラーが発生しています。 対処：プリンタの電源を一旦切り、再度入れ直してください。それでもエラーが解除されない場合は、電源を切り、プリンタ内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、再度電源をいれてください。
印刷できない画像です。	原因：印刷できない画像を印刷しようとしました。 対処：他の画像を選んでください。
印刷できません。再度実行しますか？	原因：プリンタがビジー状態で、要求を受け付けられません。 対処：しばらく待ってから再度実行してください。

メッセージ	原因と対処方法
通信が切断されました。	原因：接続ケーブルが抜かれたか、プリンタの電源が切れました。 対処：接続ケーブルを差し直すか電源を入れ直して、最初から印刷してください。
印刷できない画像がXX枚ありました。	原因：本機以外の機器で、撮影あるいは、作成した画像を印刷しようとした可能性があります。印刷できない画像を除いて印刷を実行しました。 対処：対象画像を撮影あるいは、画像を作成した機器やパソコンから印刷してください。
P.I.F. 関連ファイルがないか、壊れているため、この画像は印刷できません。	原因：P.I.F.付き画像印刷時に必要なファイルが見つかりませんでした。 対処：P.I.F. フレームのリンクが外れているか、P.I.F. フレームが変更あるいは消去されています。P.I.F. フレームの再登録をしてください。（☞P.59「P.I.F. フレームをコピー / 消去する」）
対応プリンタではありません。	原因：接続されているプリンタがダイレクトプリントに対応していません。 対処：ダイレクトプリントに対応しているプリンタをご使用ください。（☞P.33「対応プリンタ」）
電池残量が少なくなっています。	原因：電池残量が少なくなりました。 対処：ACアダプタを接続するか、一旦印刷を中止して、電池の充電を行ってください。

以上のことを確認しても解決しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センター（☞裏表紙）へご相談ください。

付録

お手入れについて

良好な状態でお使いいただくために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

注意

AC アダプタ（別売）を使用している場合は、必ず AC アダプタの電源コードをコンセントから外してください。また、電池をセットしている場合は必ず電池を取り外してください。感電のおそれがあります。

■ 本体の清掃

外装の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかな布を浸し、布をよく絞ってから汚れをふき取った後、乾いた柔らかい布でふいてください。
レンズが汚れたら、市販のブロアやエアブラシで汚れを吹き飛ばすか、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
モニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

■ 電池や充電器などの清掃

充電器は電源コードが抜かれていることを確認してください。電池や充電器の端子に付着した汚れは、乾いた柔らかい布できれいにふき取り、常にきれいな状態でお使いください。
電池接点が汚れていると、電池寿命が短くなる場合があります。

注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は、絶対に使用しないでください。変形、変質するおそれがあります。
カメラの電池室内部は、絶対にふかないでください。故障のおそれがあります。

■ 保管するときは

長期間使用しない場合は、カメラ本体や充電器から電池を外して、涼しいところに保管してください。

注意

カメラは精密な電子部品で作られていますので、保管場所には十分ご注意ください。
また、「安全にお使いいただくために」（☞P.1）、「サービス / サポートのご案内」（☞P.89）をよくお読みください。

撮影素子		1/2.5 型カラーエリア CCD センサ / 原色フィルタ
有効画素数		500 万画素
記録画素数	静止画	高精細：2560 × 1920 画素　精細：1600 × 1200 画素　標準：640 × 480 画素
	動画	高精細：640 × 480 画素　精細：320 × 240 画素　標準：160 × 120 画素
画像ファイル形式		静止画：JPEG 準拠（Exif2.21）/PRINT Image Matching II 動画：AVI 形式（MotionJPEG）
動画フレームレート		30 コマ／秒
カメラファイルシステム		DCF に準拠、DPOF 対応
記録メディア		SD メモリーカード（最大容量 1GB まで） マルチメディアカード
レンズ	焦点距離	f=5.6～16.8mm（35mmフィルムカメラ換算34mm-102mm相当）
	F 値	F=2.8（Wide 端）～ F4.9（Tele 端）
	絞り	F2.8/F4.8（Wide）　F4.9/F8.4（Tele）
	レンズ	レンズ構成 6 群 7 枚
	ズーム	沈胴式光学 3 倍ズームレンズ
	マクロ	可能（オートフォーカス）　マクロ時：約 5cm ～ 50cm
デジタルズーム		4 倍（光学 3 倍ズームと合わせて 12 倍まで撮影可能）
フォーカスモード		オートフォーカス
撮影距離		50cm ～∞（通常時） 約 5cm ～ 50cm（マクロ時・ワイド端）
シャッター速度		静止画：1 秒～ 1/2000 秒　動画：1/30 秒～ 1/2000 秒
TTL 露出制御		TTL 中央重点測光式プログラム AE
ホワイトバランス		TTL 測光方式オートホワイトバランス
撮影感度		固定感度（ISO 100/200/400 相当）/ オート
フラッシュ		自動調光式
セルフタイマ		作動時間 2 秒 /10 秒
モニタ		2.5 型透過型 TFT カラー液晶モニタ
インターフェイス		専用 USB（HighSpeed/FullSpeed マスストレージ対応）
サイズ（W × H × D）		92mm × 63mm × 32mm（突起部分を除く）
重量		約 170g（電池含まず）
環境条件	温度	動作時：5℃～ 35℃
	湿度	動作時：30%～ 80%
電源		専用リチウムイオンバッテリパックEU-94（販売型番：EPALB2） 外形寸法（W × H × D）：39mm × 38mm × 10mm 重量：33g　出力電圧：3.7V　容量：1230mAh
充電器		専用充電器 A341H 外形寸法（W × H × D）：58mm × 27mm × 78mm 重量：約 70g　入力電圧：100-120V、50/60Hz 充電方法：定電圧、定電流方式
外部電源		専用 AC アダプタ EU-37（販売型番：CPAD3B）（別売品） 入力：AC100V ～ 240V、50 ～ 60Hz　出力：DC3.4V 2.5A

カラリオインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間：裏表紙の一覧表をご覧ください。
電話番号：裏表紙の一覧表をご覧ください。

インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
エプソン販売ホームページ：http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て、触れて、操作できるショールームです。
所在地：裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。お問い合わせは裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

■ 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。
記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については保証書をご覧ください。

■ 保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
◎お買い求めいただいた販売店
◎エプソン修理センター（裏表紙の一覧表をご覧ください）
受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）9:00 ～ 17:30

■ 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

■ 画像のバックアップについてのご注意

カメラの故障により修理を依頼される場合、バックアップが可能な状態であれば画像のバックアップを必ずお取りください。
修理状況によっては、画像が消失してしまうことや、画像を復元できないことがありますが、撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 数字・アルファベット

■ ひらがな・カタカナ

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示。）

電源高調波について（充電器）

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（4）運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
（5）本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
（6）エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話 ナビダイヤル 0570ー090ー090 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●カラリオインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

ナビダイヤル 0570ー004116 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルとは、NTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルはご利用いただけません。
＊ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、下記の最寄り窓口へお問い合わせください。
札幌(011)222ー7931 仙台(022)214ー7624 東京(042)585ー8555 名古屋(052)202ー9531 大阪(06)6399ー1115
広島(082)240ー0430 福岡(092)452ー3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221ー7911 東京(042)585ー8500 名古屋(052)202ー9532 大阪(06)6397ー4359 福岡(092)452ー3305

●スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京 TEL(03)5321-9738 大阪 TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。 http://www.i-love-epson.co.jp/school/

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社（ホームページアドレス http://www.epson-supply.co.jp/ またはフリーダイヤル0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2004. 3（A）

405172400

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
4051724_00	全て	新規制定	